

第六次北本市総合振興計画 基礎調査報告書

令和7年1月15日版
北本市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査目的	1
2. 比較対象都市	1
3. 分析項目	1
II 調査結果	2
1. 人口・世帯	2
2. 結婚・出産	6
3. 都市形成	8
4. 産業・経済	11
5. 市民活動	15
6. 生活基盤	18
7. 安全	21
8. 健康・医療	23
9. 福祉・社会保障	26
10. 教育	30
11. 行政基盤	32
III 調査結果のまとめ	36

I 調査の概要

1. 調査目的

この調査は、令和8年度を初年度とする「第六次北本市総合振興計画」の策定を進めるにあたり、近隣市及び埼玉県内の類似団体と比較し、北本市がどのような水準にあるのかを各種統計データ(社会指標)から明らかにするために実施するものです。

2. 比較対象都市

- 桶川市、鴻巣市、上尾市、蓮田市、鶴ヶ島市、白岡市の6自治体
- 6自治体及び北本市の基礎データは下記のとおり

項目	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市
住民基本台帳人口 (令和6年1月1日)	人	65,403	74,448	117,582	230,167	61,337	70,063	52,649
世帯 (令和6年1月1日)	世帯	30,558	34,023	52,849	107,588	28,436	33,537	22,997
面積	km ²	19.82	25.35	67.44	45.51	27.28	17.65	24.92

人口・世帯出所:住民基本台帳人口(1月1日現在)

面積出所:全国都道府県市区町村別面積調(令和6年7月1日現在)

※比較対象都市は、近隣の主要な都市として桶川市・鴻巣市・上尾市とするとともに「総務省一般市類似団体 類型Ⅱ-3」より、蓮田市・鶴ヶ島市・白岡市を選定した。

3. 分析項目

次の11分野における主な統計について、北本市の数値の経年比較を行うとともに、類似団体との比較を実施しました(比較困難な項目を除く)。

1. 人口・世帯
2. 結婚・出産
3. 都市形成
4. 産業・経済
5. 市民活動
6. 生活基盤
7. 安全
8. 健康・医療
9. 福祉・社会保障
10. 教育
11. 行政基盤

※令和2年を中心に流行した新型コロナウイルス感染症の影響を受けている指標が多く存在している。

※各調査結果において、最新年と都市間比較の年が異なる場合がある。

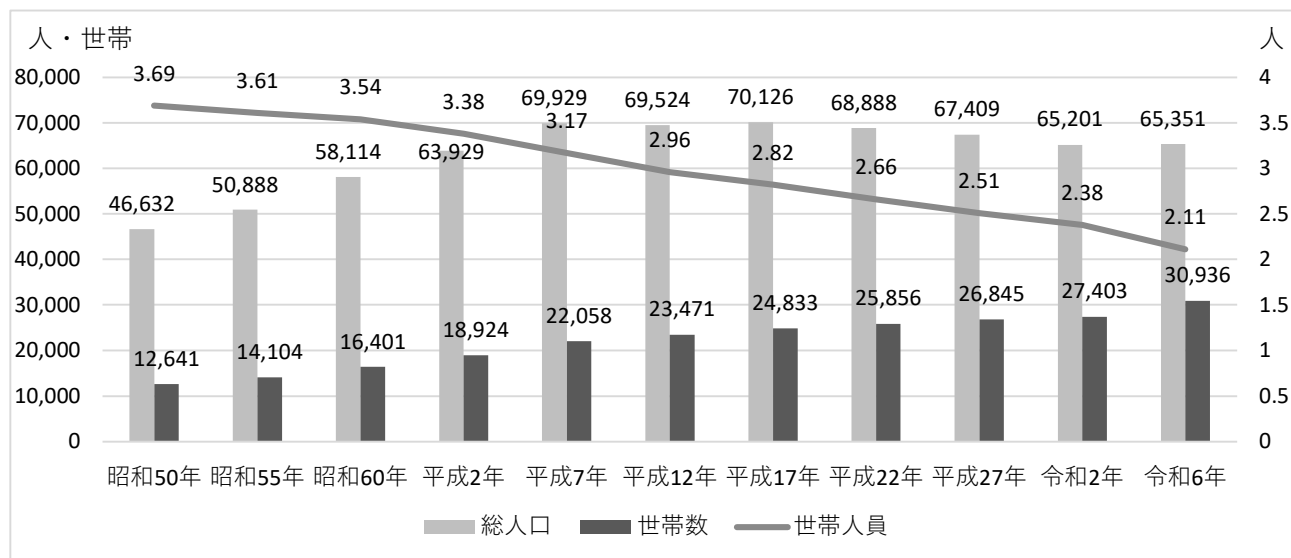
Ⅱ 調査結果

1. 人口・世帯

(1) 総人口・世帯数・世帯人員

本市の人口は平成17年をピークに減少に転じています。一方、世帯数は年々増加しており、世帯の小規模化が進行しています。

世帯人員は比較対象都市7市の中で2番目に少なくなっています。



出所：国勢調査、住民基本台帳（令和6年）

（令和2年住民基本台帳：人口 66,097、世帯数 29,566）

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
世帯人員	令和6	人	2.14	2.19	2.22	2.14	2.16	2.09	2.29	数字が大きい =良い指標

出所：住民基本台帳人口（1月1日現在）

(2) 世帯構成(一般世帯・核家族世帯・単身世帯・高齢者単身世帯)

単身世帯の増加が続いている一方、核家族世帯は平成27年をピークに減少に転じています。特に単身世帯に占める高齢者単身世帯の割合が近年大きく上昇しています。

比較対象都市7市の中で核家族世帯の割合は3番目に低く、単身世帯に占める高齢者単身世帯の割合は最も高くなっています。

単位：世帯

区分	平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	令和 2 年
一般世帯数	23,454	24,819	25,847	26,822	27,378
一般世帯数のうち核家族世帯	17,161	17,881	18,035	18,088	17,824
(割合)	(73.2%)	(72.0%)	(69.8%)	(67.4%)	(65.1%)
一般世帯数のうち単身世帯	3,756	4,428	5,464	6,710	7,797
(割合)	(16.0%)	(17.8%)	(21.1%)	(25.0%)	(28.5%)
単身世帯のうち高齢者単身世帯	769	1,196	1,835	2,765	3,584
(割合)	(20.5%)	(27.0%)	(33.6%)	(41.2%)	(46.0%)

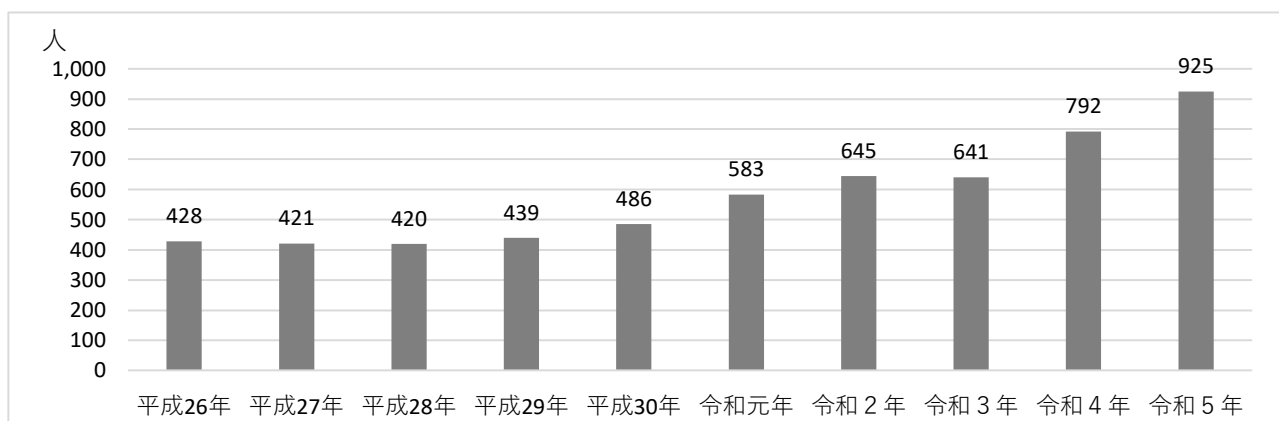
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
一般世帯数	令和2	世帯	27,378	30,842	47,443	96,347	25,439	30,502	20,484	—
一般世帯に占める核家族世帯の割合	令和2	%	65.1	65.5	65.8	60.7	65.4	61.6	67.4	—
一般世帯に占める単身世帯数の割合	令和2	%	28.5	27.8	26.6	31.0	27.7	33.3	24.7	数字が小さい =良い指標
単身世帯に占める高齢者単身世帯の割合	令和2	%	46.0	40.5	40.8	35.2	41.7	33.7	38.0	数字が小さい =良い指標

出所：国勢調査

(3) 外国人人口

在留外国人人口は令和3年に一度減少したものの、継続して増加傾向にあります。

総人口に占める割合は令和5年末時点で1.41%と比較対象都市7市の中で最も低くなっています。



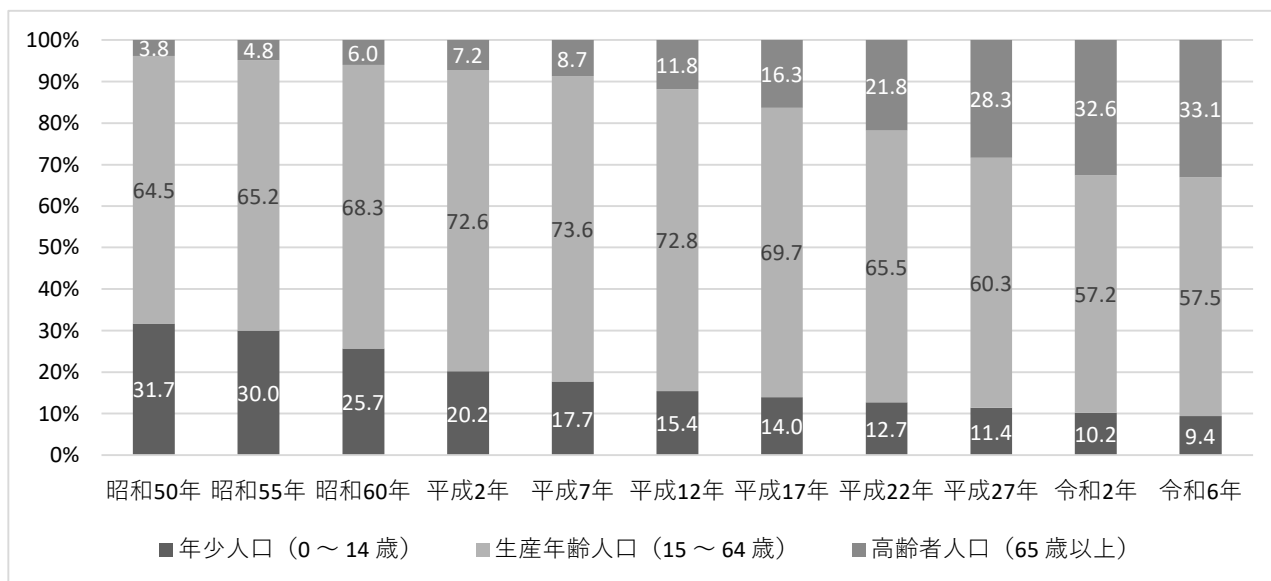
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
外国人人口	令和5	人	925	1,207	2,439	5,064	933	1,868	922	—
外国人人口割合	令和5	%	1.41	1.62	2.07	2.20	1.52	2.67	1.75	—

出所：在留外国人統計(法務省)各年 12 月 31 日現在

(4) 年齢3区分別人口構成比

年齢3区分別人口構成比は高齢者人口割合が上昇傾向に、年少人口及び生産年齢人口割合が低下傾向にあり、少子高齢化が進行しています。

比較対象都市7市の中で高齢者人口割合は最も高く、年少人口割合は最も低くなっています。



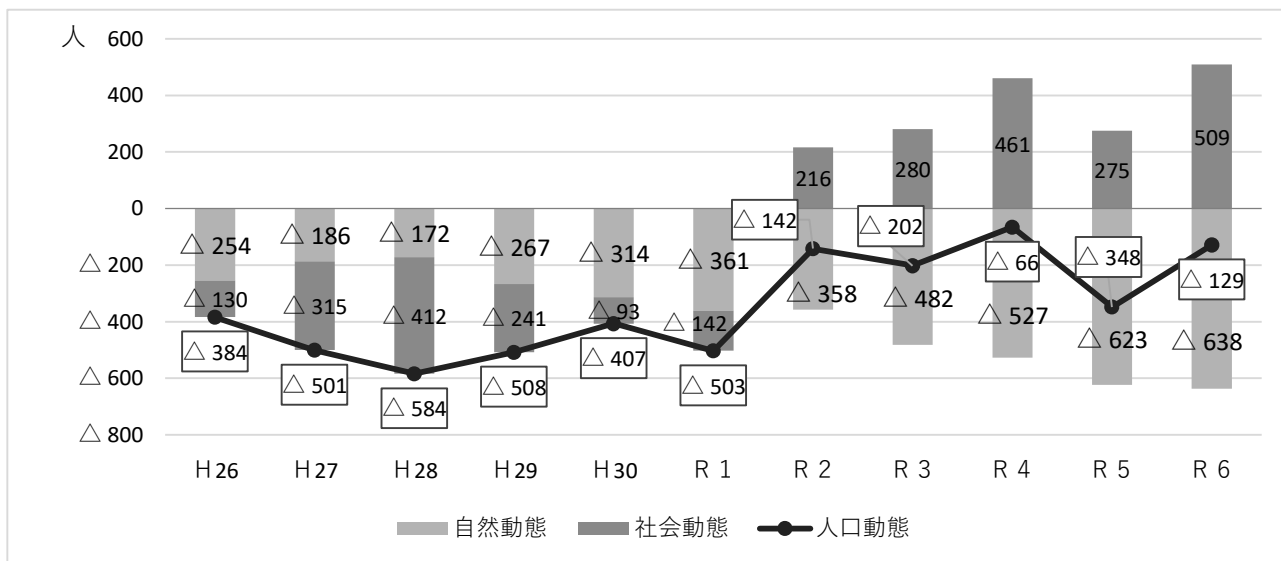
出所：国勢調査、住民基本台帳(令和6年)

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
年少人口割合	令和2	%	10.2	11.6	11.4	11.8	11.0	11.3	12.5	数字が大きい =良い指標
高齢者人口割合	令和2	%	32.6	29.8	30.1	28.6	32.4	29.1	28.2	数字が小さい =良い指標

出所：国勢調査

(5) 自然動態・社会動態

令和元年までは自然減、社会減で推移していましたが、令和2年以降は社会増が続いています。
比較対象都市7市の中で社会増減数は3番目に低く、自然増減数は2番目に低くなっています。



単位: 人

年		H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
自然動態	出生	414	373	391	374	343	363	362	332	329	312	289
	死亡	668	559	563	641	657	724	720	814	856	935	927
	増減	△ 254	△ 186	△ 172	△ 267	△ 314	△ 361	△ 358	△ 482	△ 527	△ 623	△ 638
社会動態	転入	2,311	2,208	2,068	2,160	2,240	2,238	2,416	2,393	2,714	2,697	2,819
	転出	2,441	2,523	2,480	2,401	2,333	2,380	2,200	2,113	2,253	2,422	2,310
	増減	△ 130	△ 315	△ 412	△ 241	△ 93	△ 142	216	280	461	275	509
人口動態		△ 384	△ 501	△ 584	△ 508	△ 407	△ 503	△ 142	△ 202	△ 66	△ 348	△ 129

出所: 北本市市民課

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
社会増減数	令和4	人	461	374	821	856	148	621	—	数字が大きい =良い指標
自然増減数	令和4	人	-212	-140	-226	-126	-115	17	-57	数字が大きい =良い指標

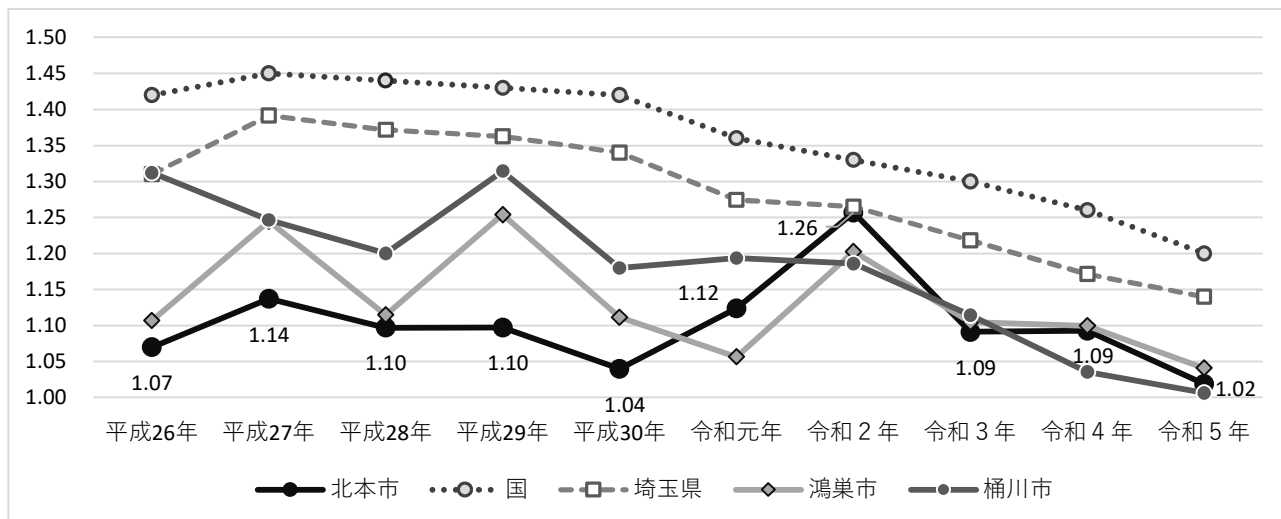
※白岡市における「—」はデータなし

出所: 各自治体統計(社会動態)、埼玉県人口動態総覧(自然動態)

2. 結婚・出産

(1) 合計特殊出生率¹

合計特殊出生率は令和2年に一時的に高くなったものの、概ね1.0から1.1程度で推移しています。比較対象都市7市の中で2番目に低くなっています。



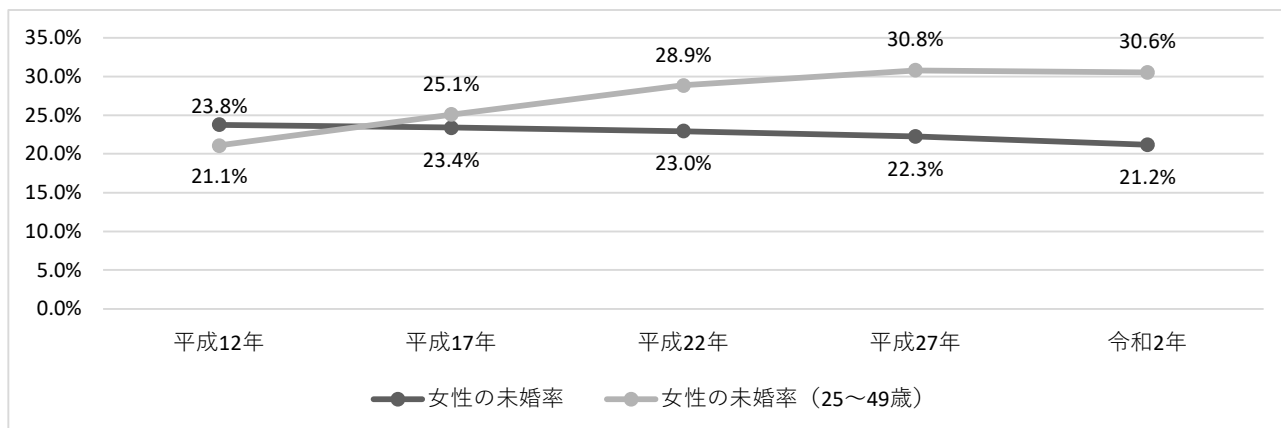
出所：埼玉県人口動態総覧(国の数値は人口動態統計)

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
合計特殊出生率	令和5	—	1.02	1.01	1.04	1.11	1.09	1.12	1.20	数字が大きい =良い指標

出所：埼玉県人口動態総覧

(2) 女性の未婚率²

女性の未婚率は低下傾向にありますが、25～49歳の女性の未婚率は上昇傾向にあります。比較対象都市7市の中で25～49歳の女性の未婚率は2番目に高くなっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
5歳階級別女性の未婚率 (25～49歳)	令和2	%	30.6	28.1	30.3	28.5	30.7	28.4	28.3	数字が小さい =良い指標

出所：国勢調査

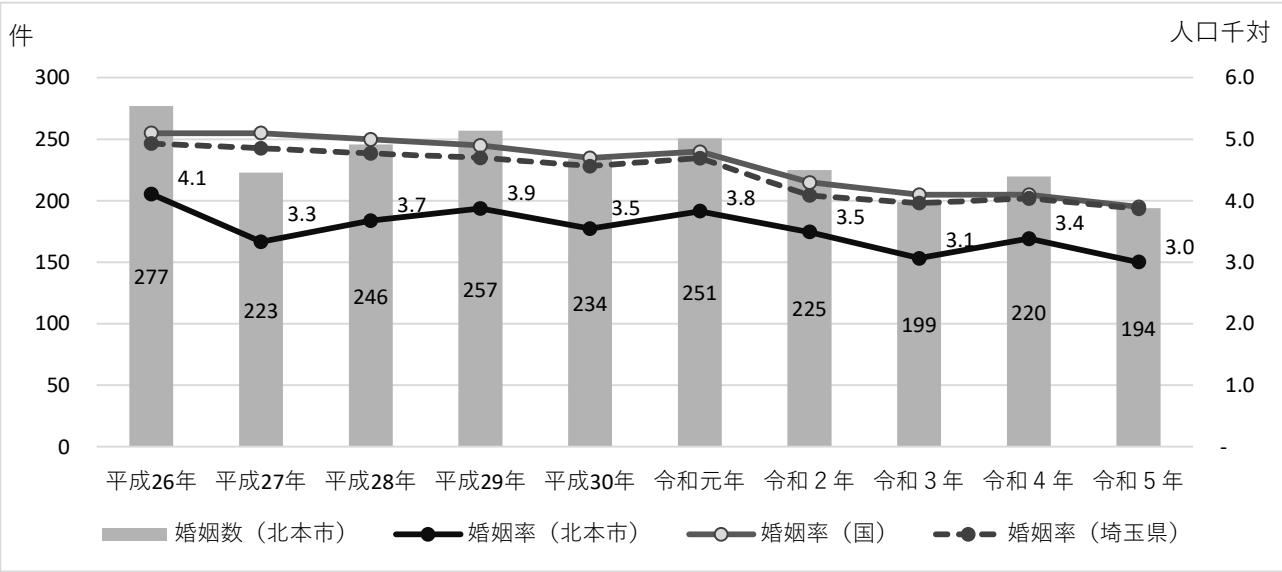
1 合計特殊出生率：15歳から49歳までの女性の年齢別の出生率を合計した数値。1人の女性が生涯に何人の子どもを産むかを推計したもの。

2 未婚率：15歳以上人口に占める未婚者数の割合。

(3) 婚姻数・婚姻率³

婚姻数は増減を繰り返しているものの、長期的にみると減少傾向で推移しており、令和5年の婚姻率は3.0となっています。

比較対象都市7市の中で婚姻率は3番目に低くなっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
婚姻数	令和5	件	194	218	328	799	242	222	204	—
婚姻率	令和5	人口千対	3.00	2.94	2.82	3.51	3.95	3.16	3.89	数字が大きい =良い指標

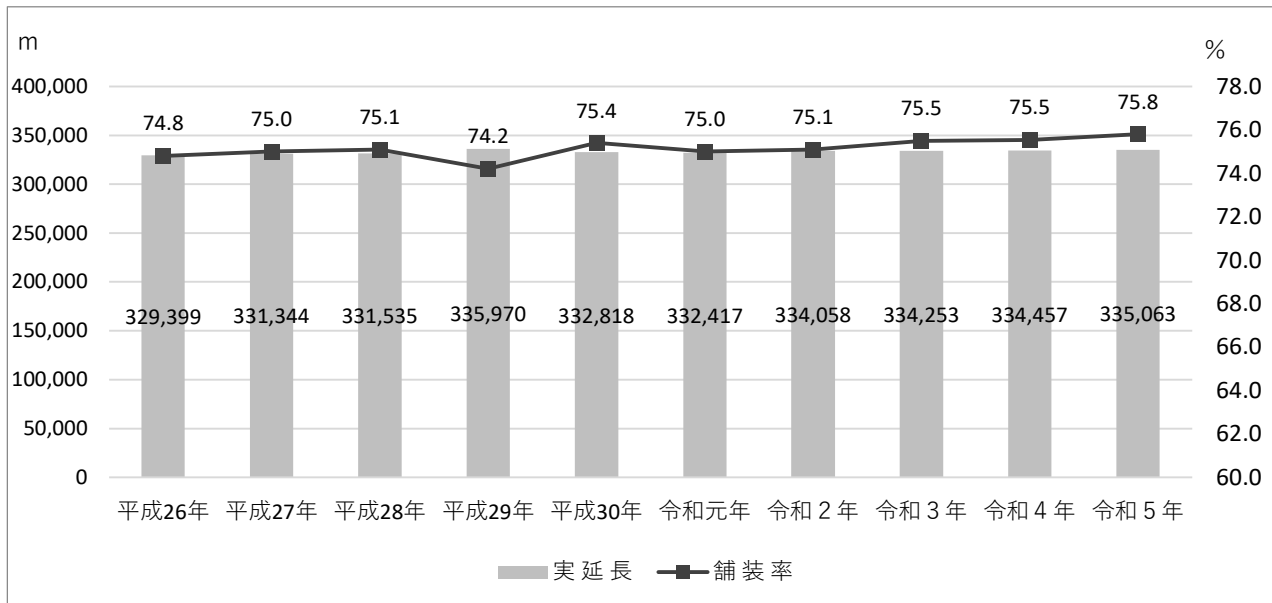
出所:埼玉県人口動態総覧

3 婚姻率:人口千人あたりの婚姻件数の割合。

3. 都市形成

(1) 市道実延長・舗装率

市道の実延長は近年334,000m前後で推移しており、舗装率は75.8%となっています。
比較対象都市7市の中で舗装率は4番目に高くなっています。



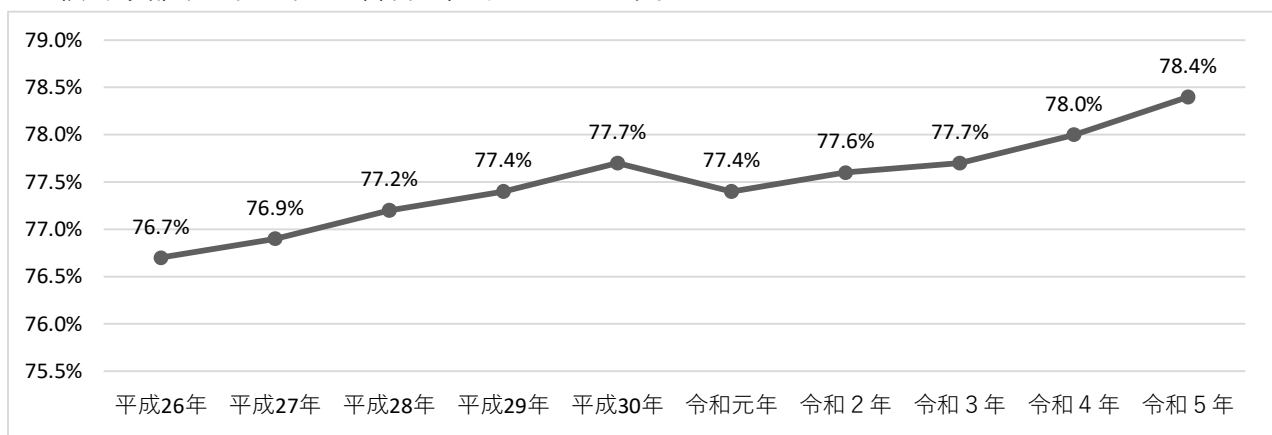
出所：北本市建設課(各年4月1日現在)

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
市道舗装率	令和4	%	75.5	84.3	67.9	88.8	67.4	88.8	67.4	数字が大きい＝良い指標

出所：県道路環境課「道路現況調査」

(2) 市街化区域における人口の割合

市街化区域における人口の割合は概ね増加傾向にあり、令和5年は78.4%となっています。
比較対象都市7市の中で3番目に低くなっています。



出所：都市計画現況調査

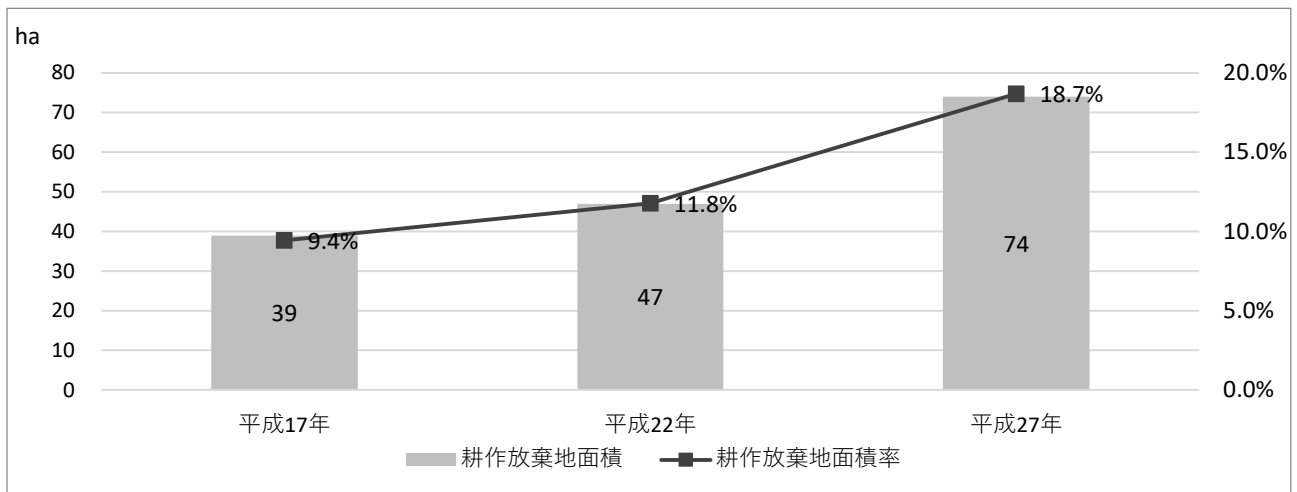
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
市街化区域における人口の割合	令和2	%	77.5	82.5	78.9	90.7	69.6	89.0	72.4	数字が大きい＝良い指標

出所：国勢調査

※出所が異なるためグラフと表の数値が異なる。

(3) 耕作放棄地⁴面積(率)

耕作放棄地面積は年々増加傾向にあり、その割合も上昇しています。
比較対象都市7市の中で耕作放棄地面積率は2番目に低くなっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
耕作放棄地面積率	平成27	%	18.7	34.3	8.3	32.4	34.1	57.0	25.3	数字が小さい =良い指標

※耕作放棄地面積率 = 耕作放棄地面積 / (耕作放棄地面積 + 経営耕地面積)

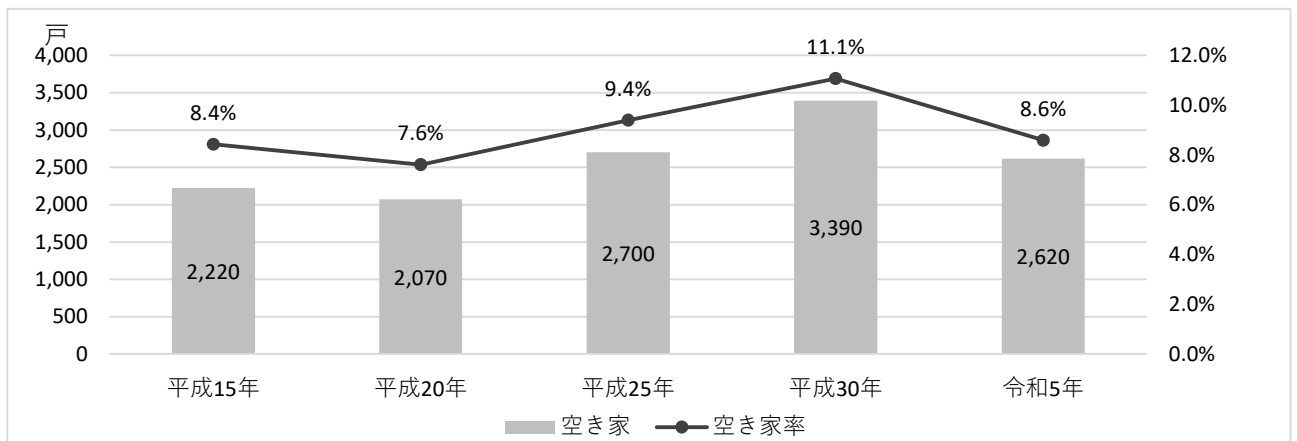
出所: 農林業センサス

※令和2年農林業センサスでは本項目の数値が取得されていない。

(4) 空き家数(率)

空き家数は平成20年から平成30年にかけて増加していましたが、令和5年に減少し、2,620戸、住宅総数に占める割合は8.6%となっています。

比較対象都市7市の中で空き家数率は4番目となっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
空き家数率	令和5	%	8.6	11.5	9.5	8.2	8.8	6.8	7.4	数字が小さい =良い指標

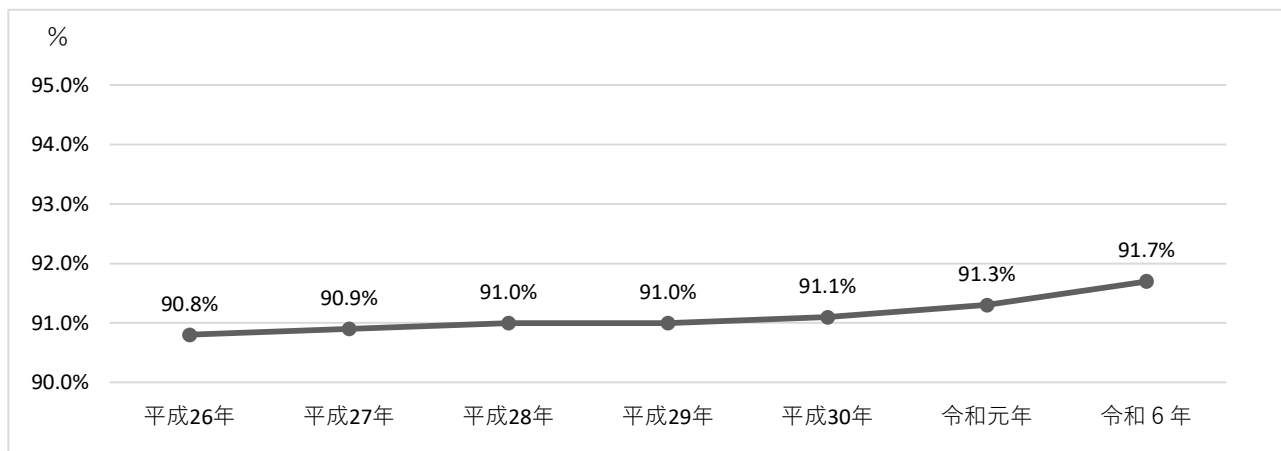
出所: 住宅・土地統計調査

4 耕作放棄地: 以前耕作していた土地で、過去1年以上作物を作付け(栽培)せず、この数年の間に再び作付け(栽培)する意思のない土地をいう。

(5) 住宅の耐震化率

住宅の耐震化率は上昇傾向にあります。

持ち家の耐震化率は、比較対象都市7市の中で2番目に低くなっています。



※平成25年度、平成30年度の住宅・土地統計調査結果を基に算出し、それ以外の年度は推計値として算出。

※住宅・土地統計調査は全ての住宅(一部除く。)から抽出しているため、「住宅」には一戸建ての住宅、共同住宅、長屋等が含まれます。

出所:北本市住宅・建築物耐震改修促進計画

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
住宅(持ち家)の耐震化率	平成30	%	80.4	80.5	81.2	82.4	78.1	84.4	83.2	数字が大きい =良い指標

出所:住宅・土地統計調査

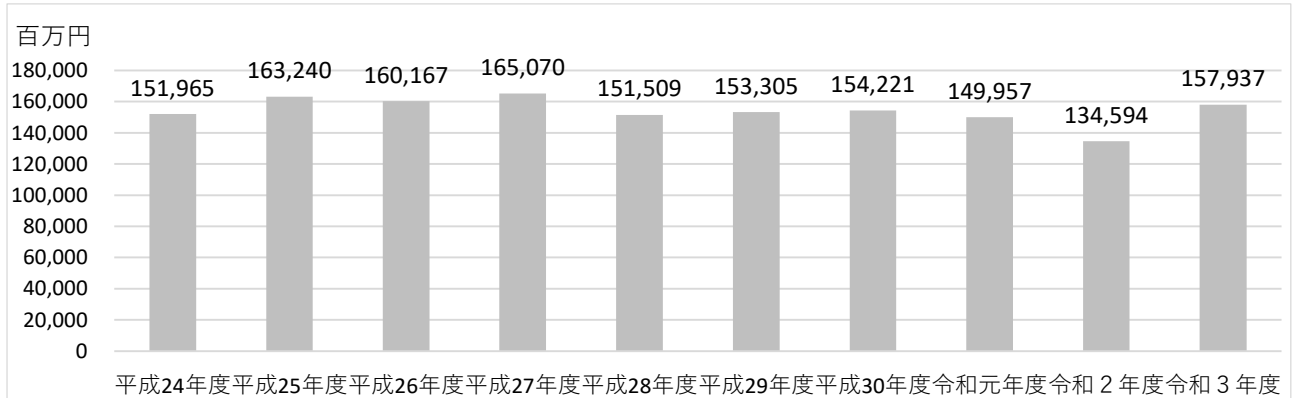
※持ち家だけの数値で、借家を含まないため、グラフと表の数値が異なる。

4. 産業・経済

(1) 市内総生産額

市内総生産額は令和2年度に対前年比で1割以上減少しましたが、令和3年度には大きく回復しています。

比較対象都市7市の中で人口当たり総生産額は最も低くなっています。

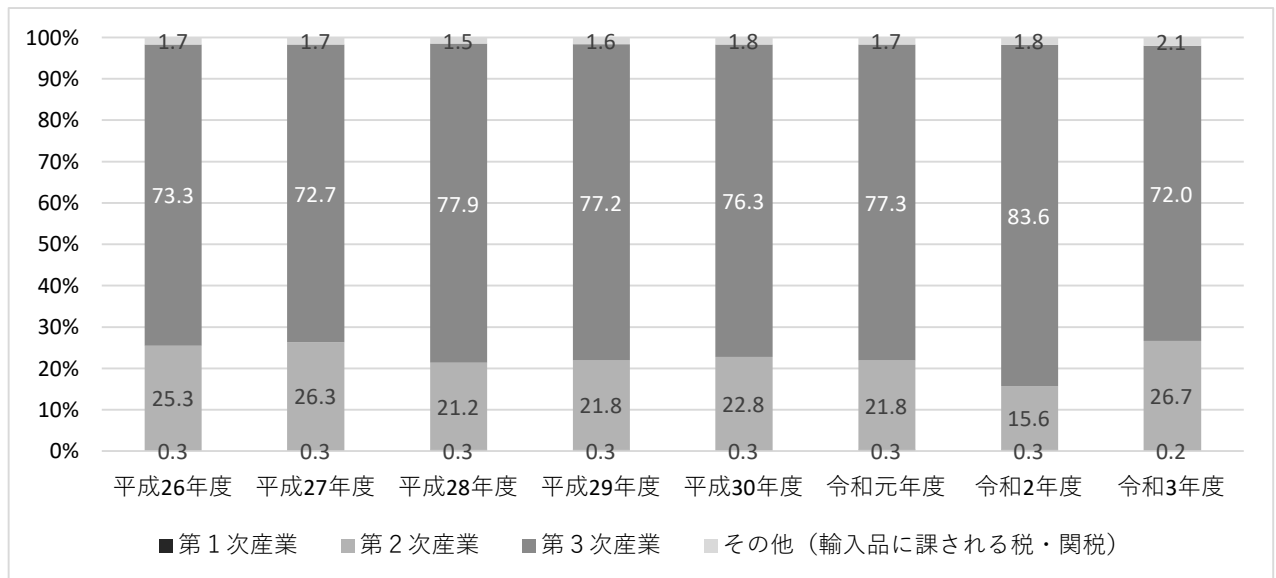


区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
市内総生産額	令和3	百万円	157,937	207,401	283,081	752,929	178,384	172,961	133,354	—
人口当たり総生産額	令和3	百万円	2.39	2.76	2.40	3.28	2.90	2.47	2.54	数字が大きい =良い指標

出所:埼玉県市町村経済計算

(2) 市内総生産額の産業別構成比

令和3年度の市内総生産額の産業別構成比は、第3次産業が72.0%を占めています。



※控除項目(総資本形成に係る消費税)があるため、合計は100%にならない。

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
総生産額産業別構成比 第1次産業	令和3	%	0.2	0.2	0.7	0.1	0.2	0.4	0.6	—
総生産額産業別構成比 第2次産業	令和3	%	26.7	24.3	33.7	34.6	40.4	23.8	24.5	—
総生産額産業別構成比 第3次産業	令和3	%	72.0	74.5	64.6	64.2	58.4	74.8	73.8	—

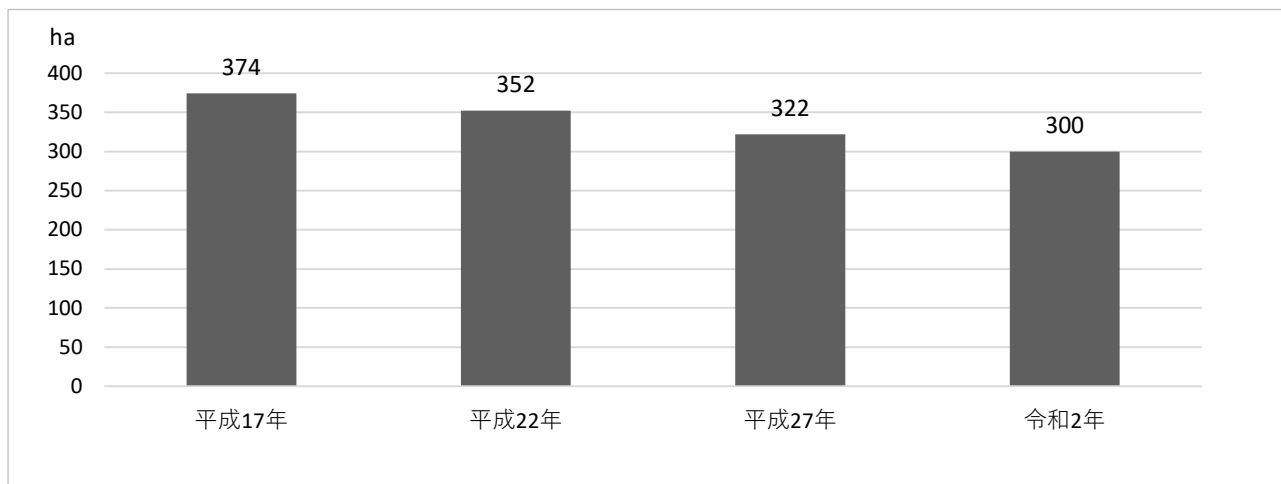
※その他及び控除項目(総資本形成に係る消費税)があるため、合計は100%にならない。

出所:埼玉県市町村経済計算

(3) 経営耕地⁵面積

経営耕地面積は年々減少傾向にあります。

比較対象都市7市の中で市域に対する経営耕地面積の割合は3番目に低くなっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
経営耕地面積	令和2	ha	300	393	2,488	350	451	95	468	—
市域に占める経営耕地面積割合	令和2	%	15.1	15.5	36.9	7.7	16.5	5.4	18.8	—

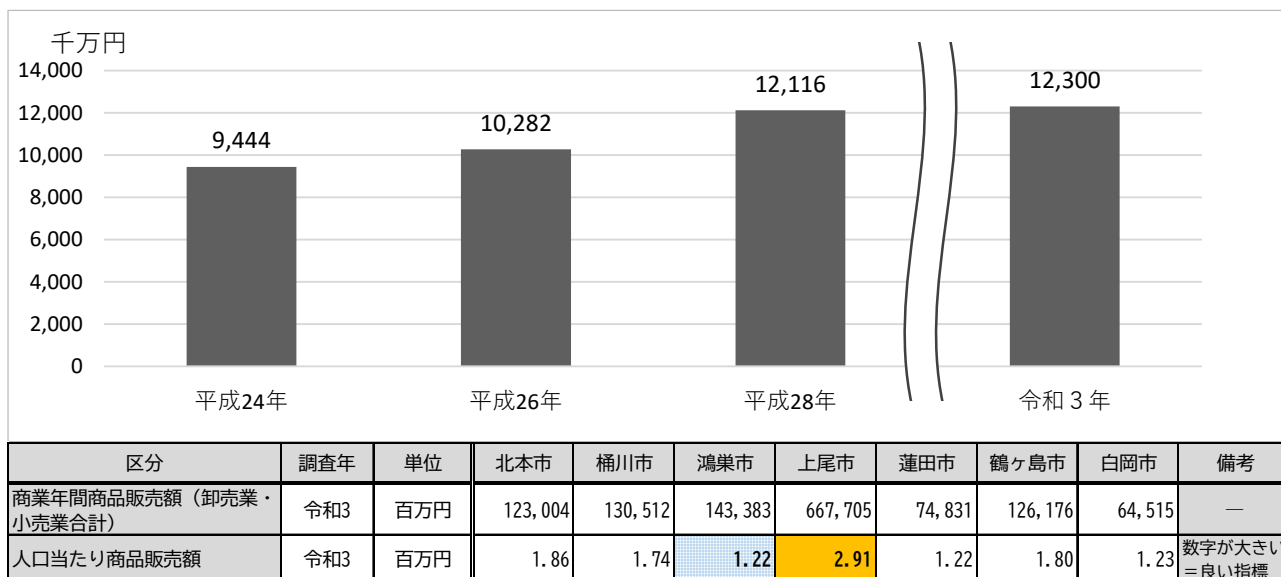
出所：農林業センサス

5 経営耕地：調査期日現在で農林業経営体が経営している耕地(けい畔を含む田、樹園地及び畑)をいい、自ら所有し耕作している耕地(自作地)と、他から借りて耕作している耕地(借入耕地)の合計。

(4) 商業年間商品販売額(卸売業・小売業合計)

商業年間商品販売額は増加傾向にあります。

比較対象都市7市の中で人口当たり商品販売額は2番目に高くなっています。

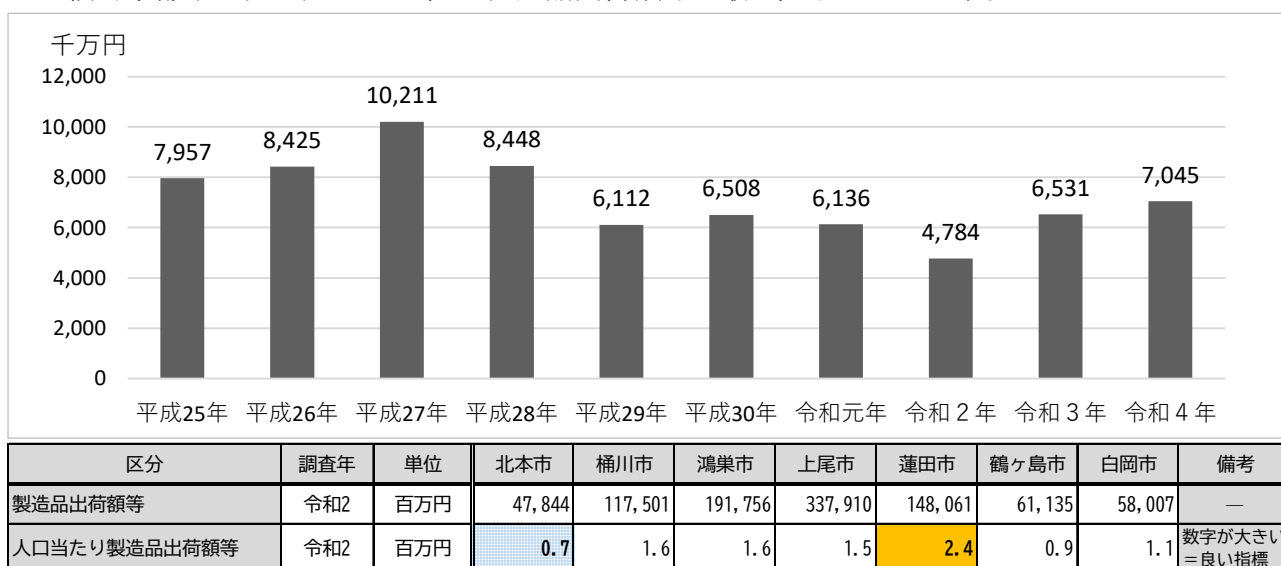


出所：商業統計、経済センサス-活動調査※

(5) 製造品出荷額等

製造品出荷額等は平成27年をピークに減少し、令和2年以降増加しています。

比較対象都市7市の中で人口当たり製造品出荷額等は最も低くなっています。



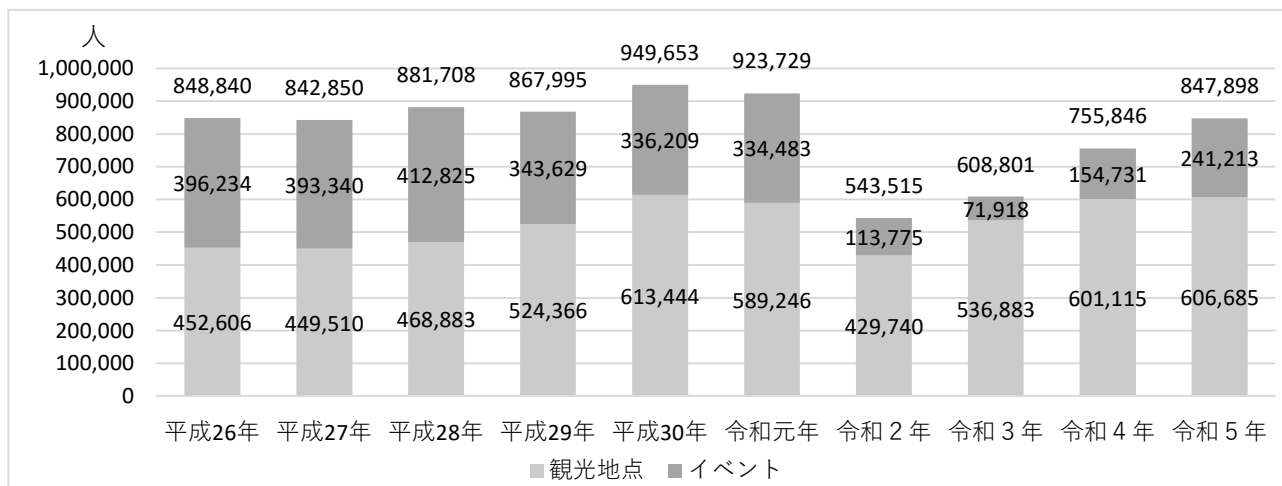
出所：工業統計、経済センサス-活動調査※

※本ページの数値については、調査における前提条件等が必ずしも一定でないことから、経年比較には留意が必要である。（令和3年経済センサス-活動調査は、個人経営を含まない集計結果であることから、前年の工業統計結果と単純比較ができない。また、調査対象事業所に外観からの確認では把握が困難な事業所が加えられており、従来の調査よりも幅広く事業所を捉えている。）

(6) 観光入込客数

観光入込客数は令和2年に大きく減少して以降、増加傾向にあります。以前の水準にまでは回復していません。

比較対象都市7市の中で観光地点による観光入込客数が最も多く、イベントによる分との合計でも2番目に多くなっています。



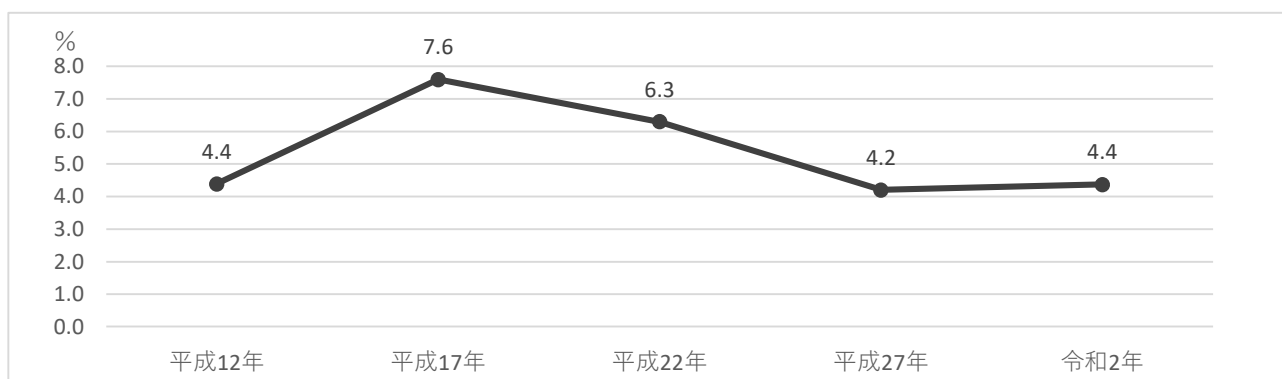
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
観光入込客数（観光地点）	令和4	人	601,115	500,341	482,000	5,111	0	0	188,617	数字が大きい =良い指標
観光入込客数（イベント）	令和4	人	154,731	96,312	1,113,839	172,555	4,500	43,000	0	数字が大きい =良い指標
観光入込客数（合計）	令和4	人	755,846	596,653	1,595,839	177,666	4,500	43,000	188,617	数字が大きい =良い指標

出所：埼玉県観光入込客統計調査結果

(7) 完全失業率

完全失業率は平成17年に一度増加し、以降平成27年まで低下が続いた後、令和2年にかけて4%台で横ばいとなっています。

比較対象都市7市の中で2番目に高くなっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
完全失業率	令和2	%	4.4	3.9	4.1	4.0	4.5	4.4	3.8	数字が小さい =良い指標

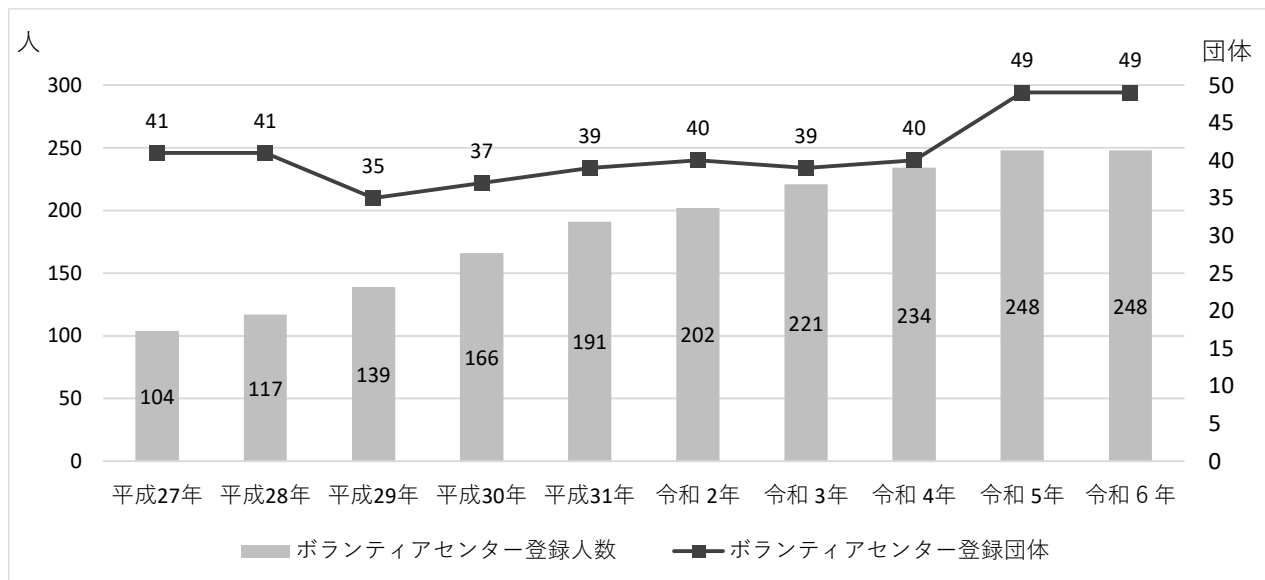
出所：国勢調査

5. 市民活動

(1) ボランティア登録人数・団体数

ボランティアセンター登録人数は増加傾向にあり、令和6年は248人となっています。登録団体数は40前後で推移していましたが、令和6年は49団体となっています。

ボランティア団体数の総人口比は比較対象都市7市の中で2番目に高くなっています。



出所：北本市社会福祉協議会（各年3月31日現在）

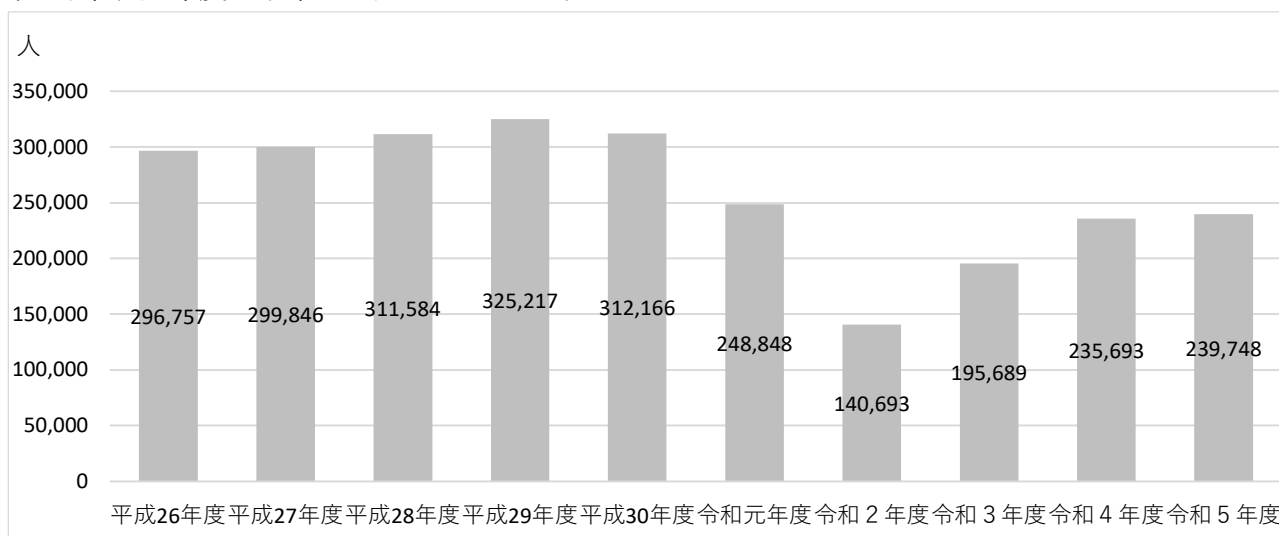
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
ボランティア登録人数	令和2	人	191	1,493	—	—	392	—	—	—
ボランティア団体数	令和2	団体	39	47	111	35	19	—	20	—
人口千対ボランティア団体数	令和2	人口千対	0.6	0.6	0.9	0.2	0.3	—	0.4	数字が大きい＝良い指標

※各市における「—」について、計画上に記載のないため「—」と表記。

出所：各自治体地域福祉計画

(2) 地域学習センター利用人数

市内8箇所の地域学習センターにおける利用人数は、令和2年度に大きく減少し、その後増加していますが、令和元年度の水準には戻っていません。

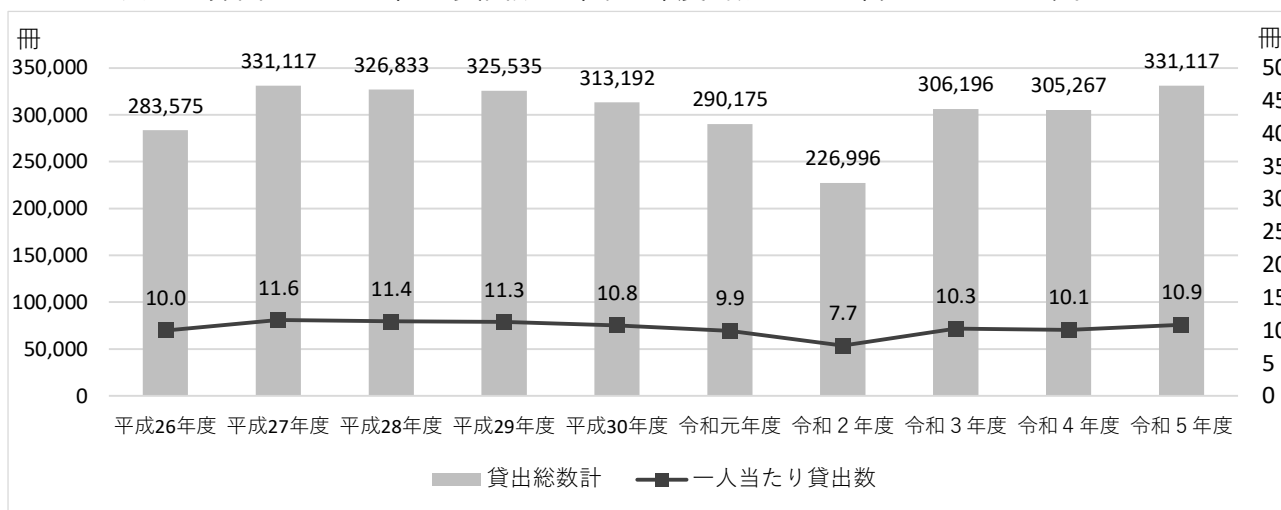


出所：北本の統計（各地域学習センター）（各年度3月31日現在）

(3) 図書館の貸出冊数

図書館(中央図書館及びこども図書館)における貸出総数は令和2年度に大きく減少しましたが、令和3年度には回復し、以降横ばいで推移しています。

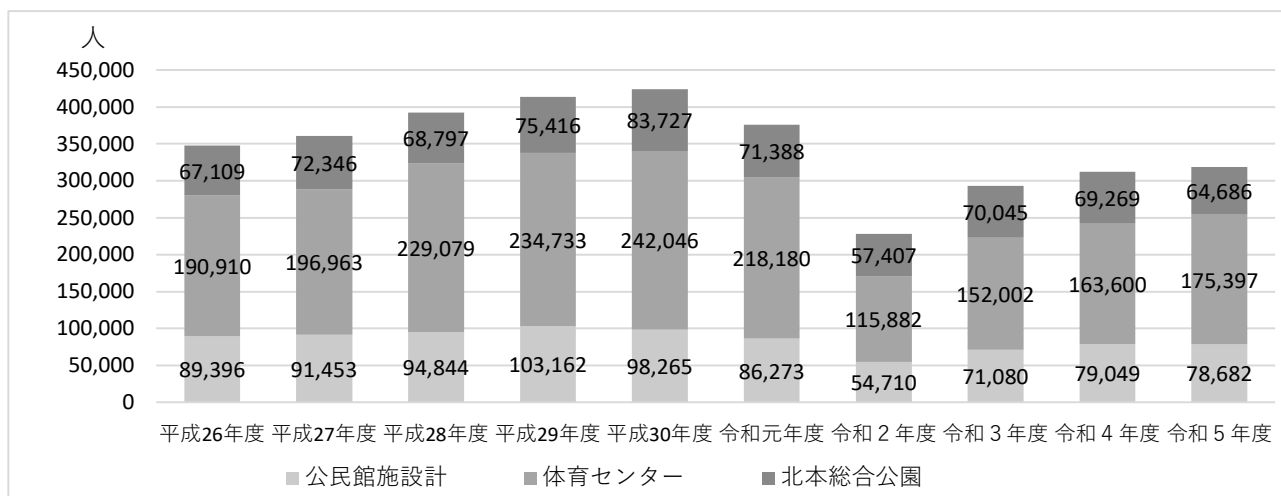
人口を用いて算出した一人当たり貸出数は令和5年度時点で10.9冊となっています。



出所:北本の統計(各図書館)(各年度3月31日現在)

(4) 市内スポーツ施設利用者数

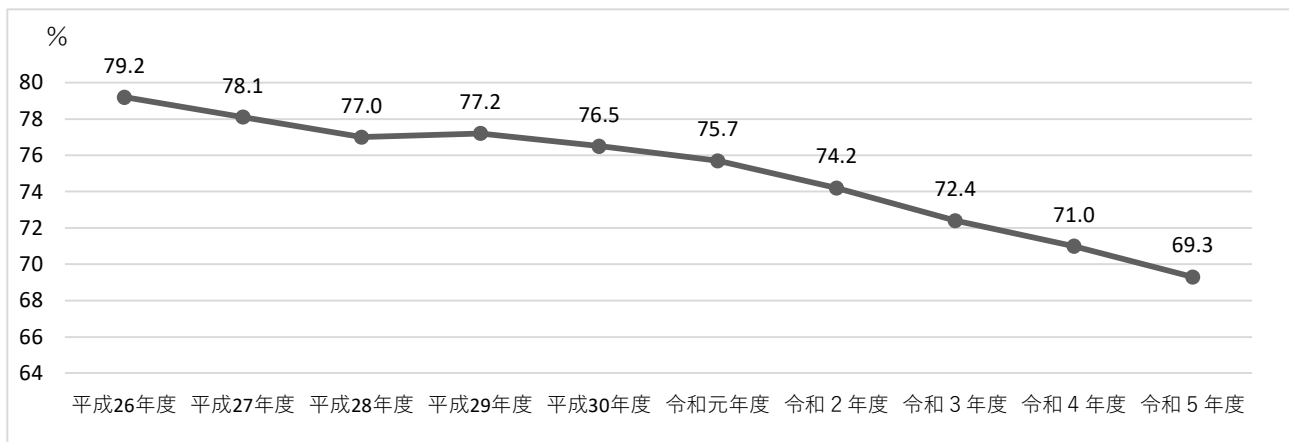
市内スポーツ施設の利用者は令和2年に大きく減少し、その後増加していますが、特に体育センター利用者が令和元年の水準に戻っていない状況です。



出所:北本の統計(各施設)(各年度3月31日現在)

(5) 自治会に加入している世帯の割合

自治会加入率は平成26年度以降、年々低下傾向にあり、令和5年度は7割を下回っています。
数値が把握できた比較対象都市7市の中では2番目に高くなっています。



出所：北本市くらし安全課

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
自治会に加入している世帯の割合	令和3	%	72.4	67.2	75.0	—	—	57.5	—	数字が大きい =良い指標

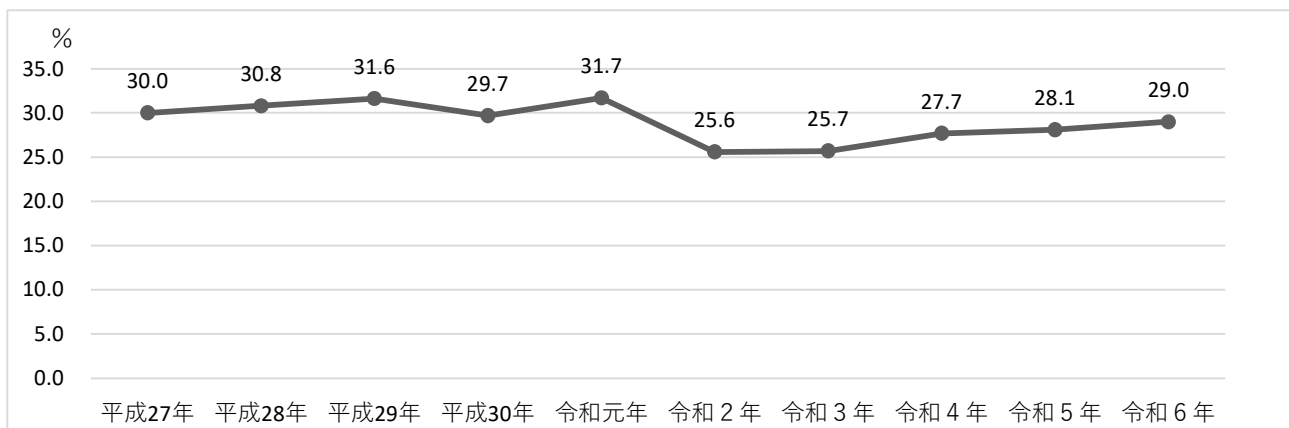
※各市における「—」について、計画上に記載のないため「—」と表記。

出所：各自治体地域福祉計画

(6) 市の審議会等に女性が登用されている割合

審議会等における女性委員の割合は令和元年までは3割を超えていましたが、令和5年時点では28.8%となっています。

比較対象都市7市の中で3番目に低くなっています。



※地方自治法(202条の3)に基づく執行機関の附属機関及び地方自治法(第180条の5)に基づく行政委員会を合計した数値

出所：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
市の審議会等に女性が登用されている割合	令和5	%	28.8	26.2	29.6	32.6	37.5	35.5	28.0	数字が大きい =良い指標

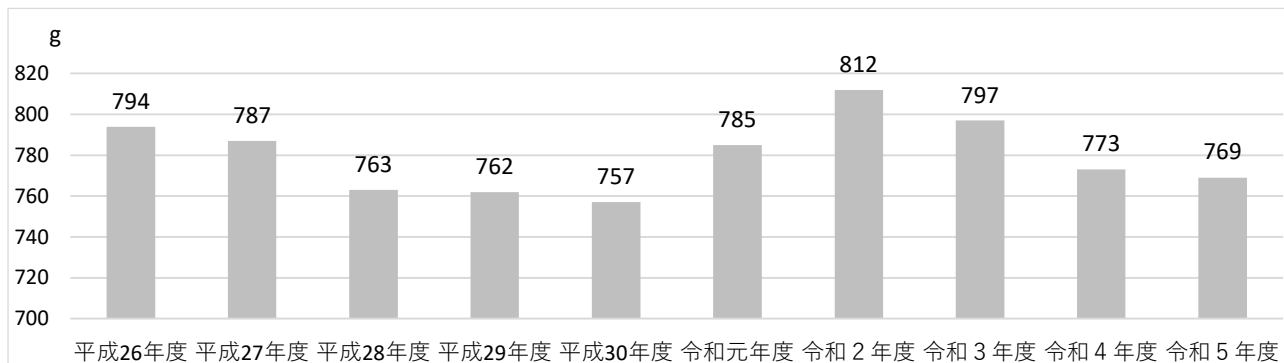
出所：内閣府「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」

※算出方法が異なるためグラフと表の数値が異なる。

6. 生活基盤

(1) 人口1人1日あたりごみ排出量

人口1人1日あたりごみ排出量は増減を繰り返し、令和2年度をピークに減少しています。
比較対象都市7市の中で3番目に多くなっています。

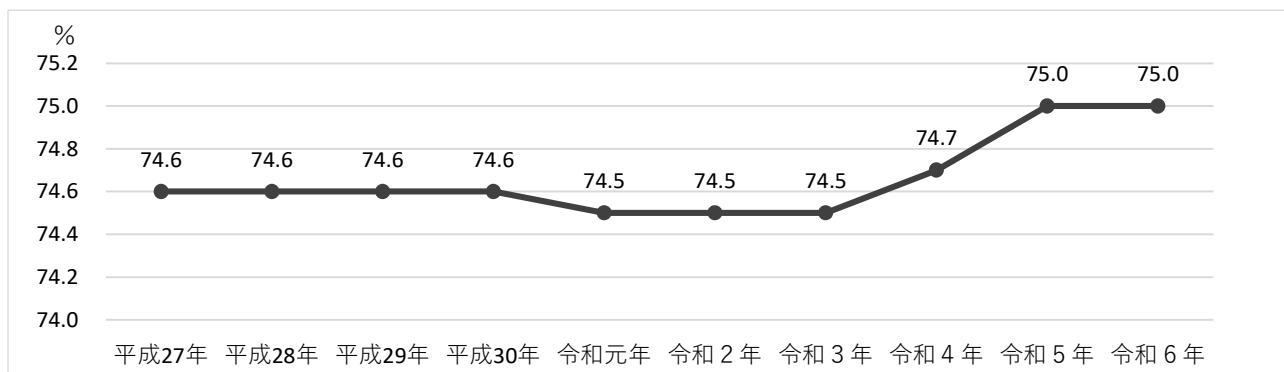


区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
人口1人1日あたりごみ排出量	令和4	g	773	689	799	758	753	779	772	数字が小さい =良い指標

出所:埼玉県「一般廃棄物処理事業の概況」(各年度末現在)

(2) 公共下水道普及率⁶

公共下水道普及率は令和3年まで横ばいで推移していましたが、以降は上昇傾向にあります。
比較対象都市7市の中で3番目に低くなっています。



出所:北本市建設課(各年3月31日現在)

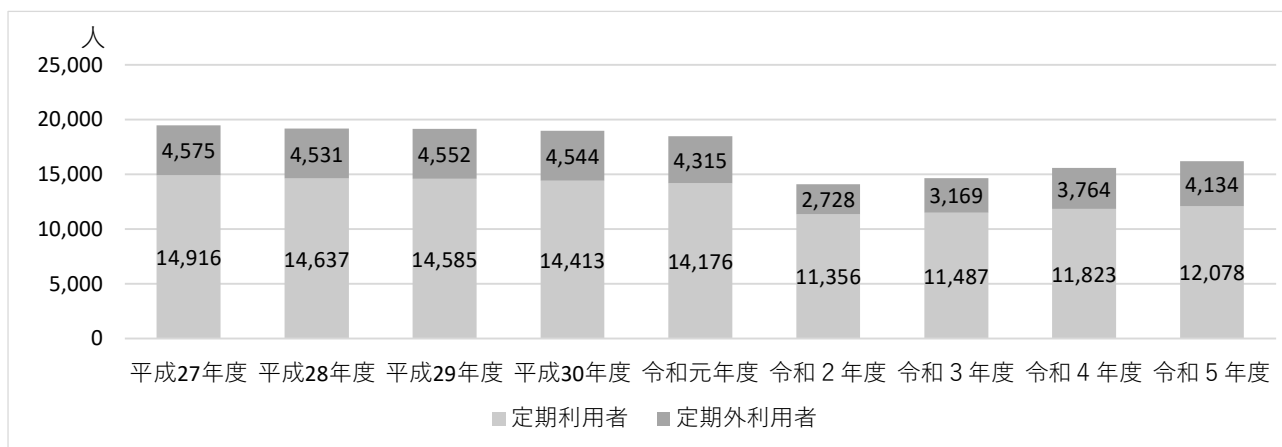
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
公共下水道普及率	令和6	%	75.0	83.0	78.9	85.5	74.7	89.0	70.6	数字が大きい =良い指標

出所:国土交通省「下水道処理人口普及率一覧(令和5年度末)」

⁶ 公共下水道普及率:市内の人口(行政人口)に対して下水道が利用できる区域内の人口(供用区域内人口)の割合。

(3) 北本駅の乗車人員(1日平均)

北本駅の1日の乗車人員は令和2年度に減少し、以降は特に定期外利用者が増加しています。

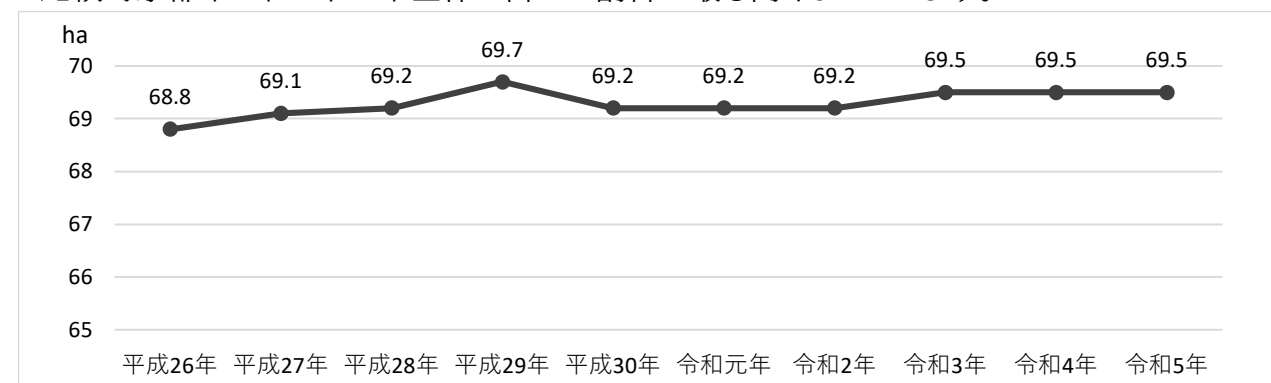


出所:埼玉県統計年鑑

(4) 都市公園面積

都市公園面積は令和3年に増加しています。

比較対象都市7市の中で市全体に占める割合は最も高くなっています。



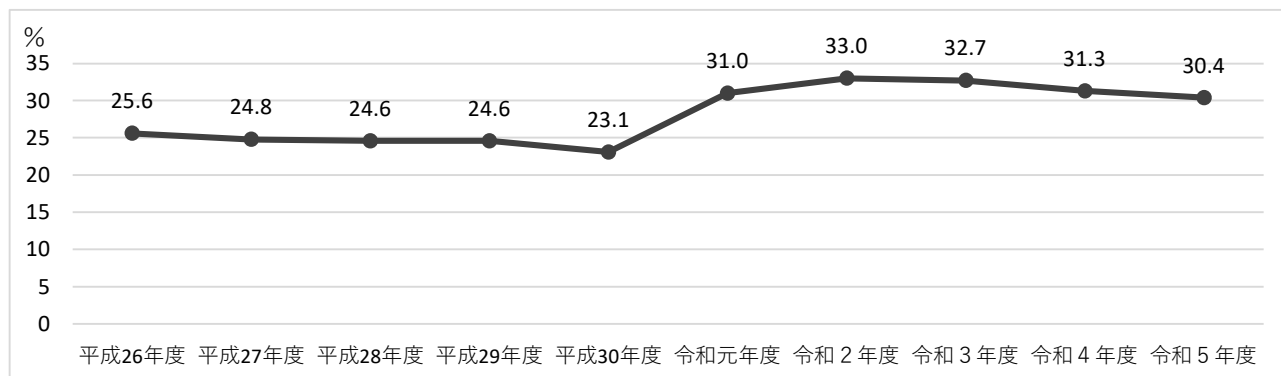
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
都市公園面積	令和5	ha	69.5	22.0	70.0	98.0	21.0	41.1	37.8	—
市域に占める都市公園面積の割合	令和5	%	3.5	0.9	1.0	2.2	0.8	2.3	1.5	数字が大きい =良い指標

出所:公共施設状況調査(各年3月31日現在)

(5) ごみの再生利用率⁷

ごみの再生利用率は令和元年度に大きく上昇し、以降30%程度で推移しています。

比較対象都市7市の中で2番目に高くなっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
ごみの再生利用率	令和4	%	31.3	39.7	24.9	18.2	23.5	15.1	22.8	数字が大きい =良い指標

出所：埼玉県「一般廃棄物処理事業の概況」(各年度末現在)

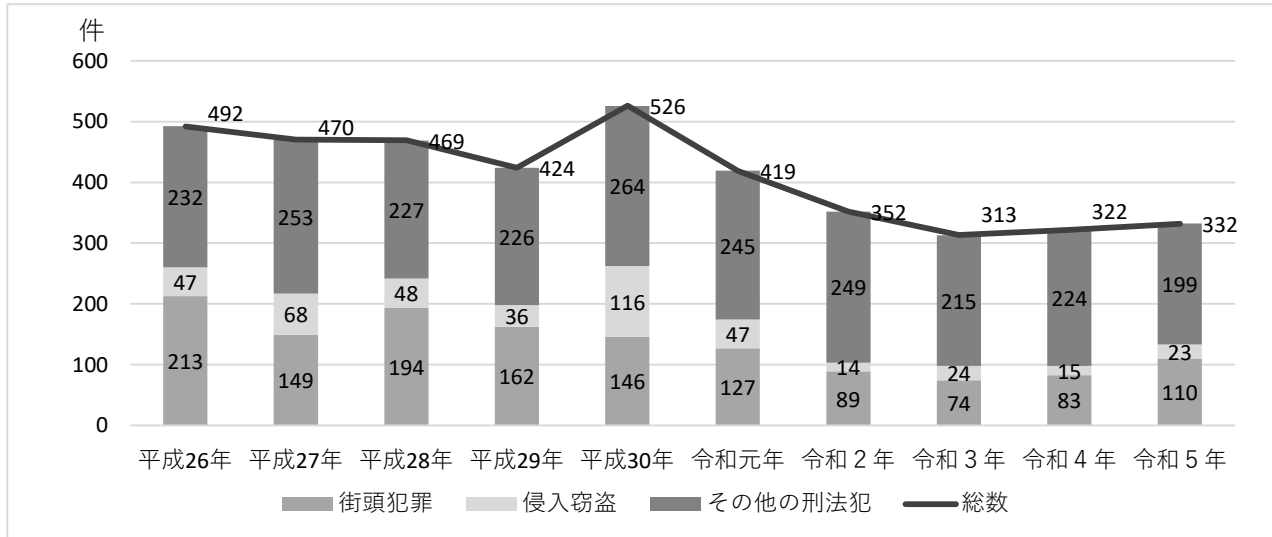
⁷ **ごみの再生利用率**：ごみの総処理量及び集団回収量(市町村による用具の貸出し、補助金の交付等で市町村に登録された住民団体によって回収された量)に占める再生利用量の割合。

7. 安全

(1) 市内犯罪発生件数

犯罪発生件数は平成30年に一度増加して以降は減少が続いていましたが、令和4年には増加に転じました。

人口千対で犯罪発生件数をみると、比較対象都市7市の中で2番目に少なくなっています。



出所：鴻巣警察署、令和5年のみ埼玉県警察本部（各年12月31日現在）

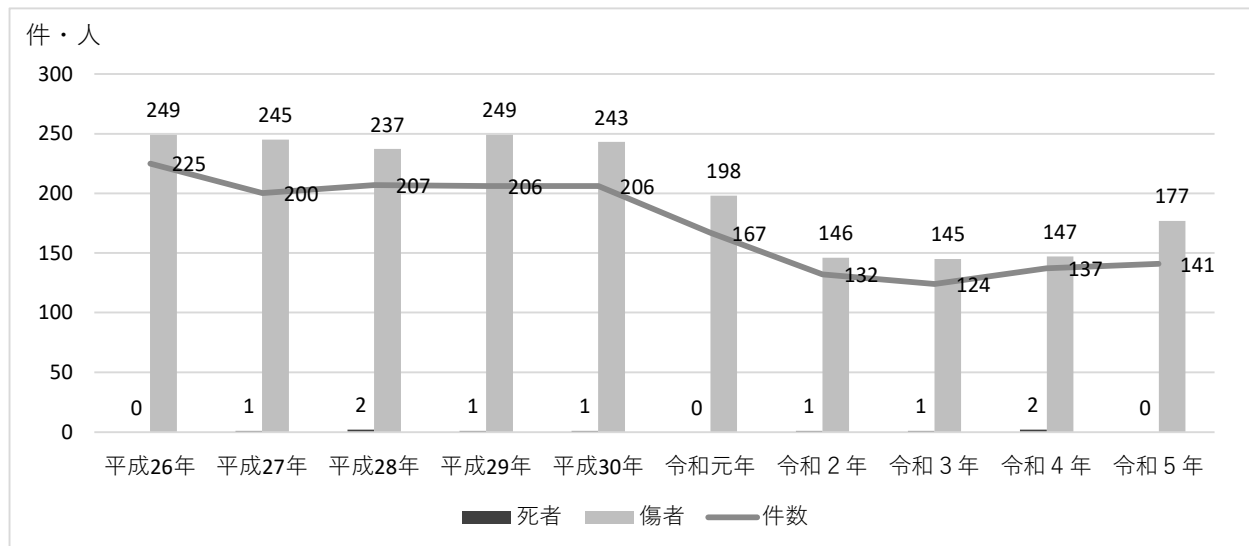
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
犯罪発生件数	令和5	件	332	450	605	1,385	349	361	241	—
人口千対犯罪発生件数	令和5	人口千対	5.0	6.0	5.1	6.0	5.7	5.1	4.6	数字が小さい＝良い指標

出所：埼玉県警察本部

(2) 市内交通事故発生件数

交通事故発生件数は過去10年間で減少傾向にありましたが、令和5年は177件となっています。

人口千対で交通事故発生件数をみると、比較対象都市7市の中で2番目に少なくなっています。



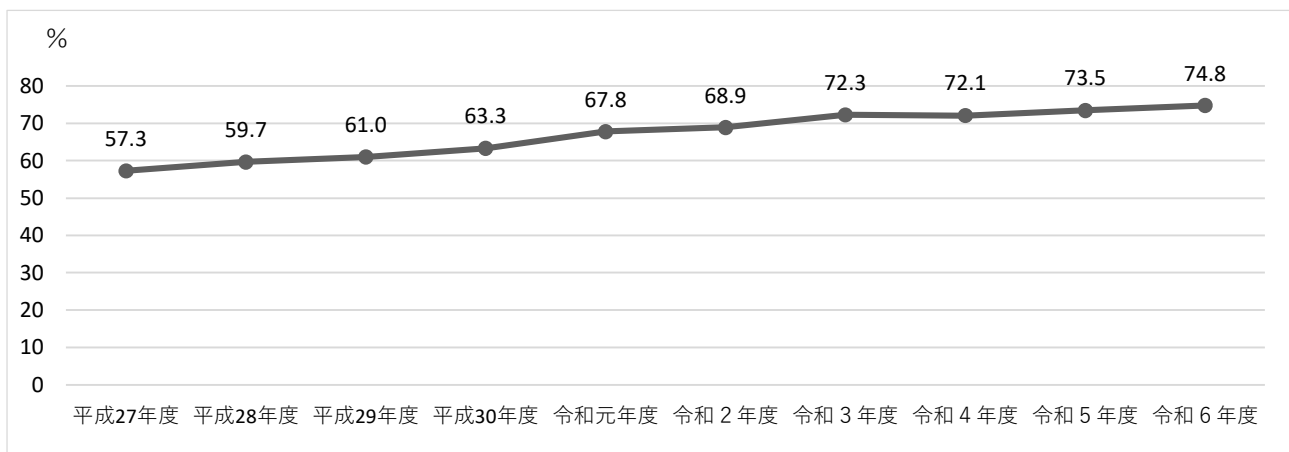
出所：交通事故統計（埼玉県警察）（各年12月31日現在）

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
交通事故発生件数	令和4	件	137	167	203	487	133	203	121	—
人口千対交通事故発生件数	令和4	人口千対	2.1	2.2	1.7	2.1	2.2	2.9	2.3	数字が小さい＝良い指標

出所：埼玉県警察本部

(3) 自主防災組織の組織率

自主防災組織の組織率は上昇傾向にあります。
比較対象都市7市の中で3番目に低くなっています。



出所：北本市くらし安全課

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
自主防災組織数	令和4	団体	119	67	117	72	40	36	27	—
自主防災組織 組織率	令和4	%	68.1	71.3	100.0	99.5	30.7	66.3	80.3	数字が大きい =良い指標

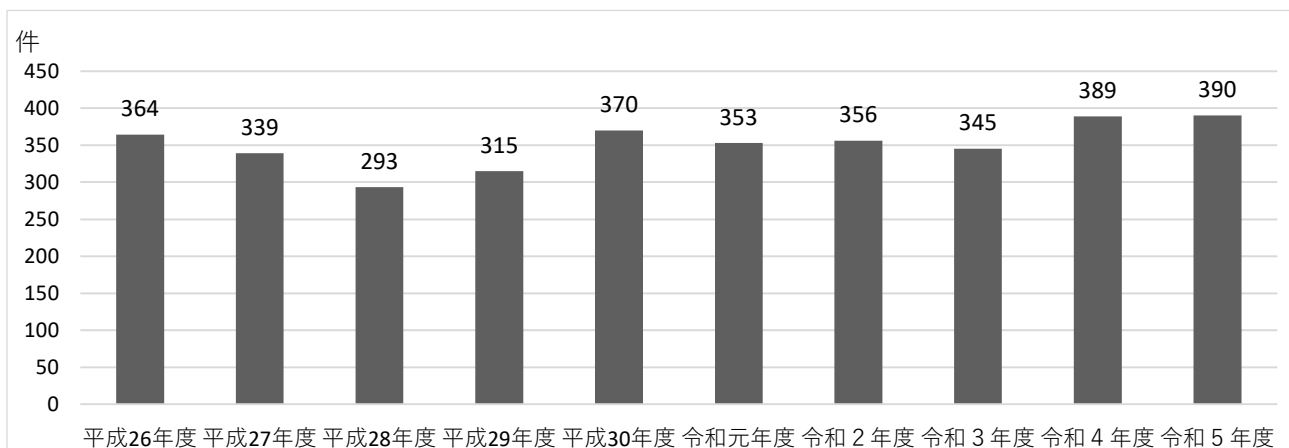
※組織率＝組織されている地域の世帯数/管内世帯数

出所：埼玉の震災対策(4月1日現在)

※出所が異なるためグラフと表の数値が異なる。

(4) 消費生活相談受付件数

消費生活相談受付件数は過去10年間で微増しており、令和5年度は390件となっています。
人口千対で消費生活相談受付件数をみると、比較対象都市7市の中で3番目に多くなっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
消費生活相談受付件数	令和5	件	390	440	444	1,725	320	488	281	—
人口千対消費生活相談受付件数	令和5	人口千対	5.9	5.9	3.8	7.5	5.2	7.0	5.3	数字が小さい =良い指標

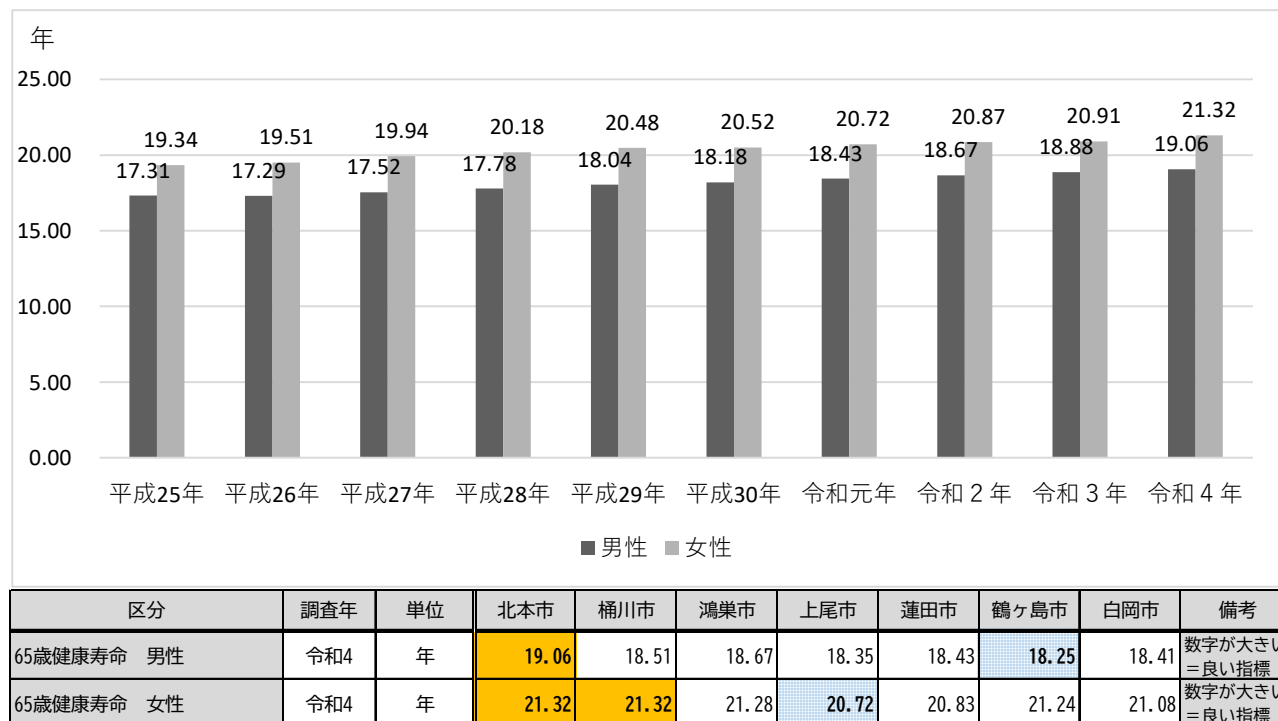
出所：埼玉県消費生活相談年報

8. 健康・医療

(1) 65 歳健康寿命⁸

65歳健康寿命は男女ともに延伸傾向にあります。

比較対象都市7市の中で男女ともに最も長くなっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
65歳健康寿命 男性	令和4	年	19.06	18.51	18.67	18.35	18.43	18.25	18.41	数字が大きい =良い指標
65歳健康寿命 女性	令和4	年	21.32	21.32	21.28	20.72	20.83	21.24	21.08	数字が大きい =良い指標

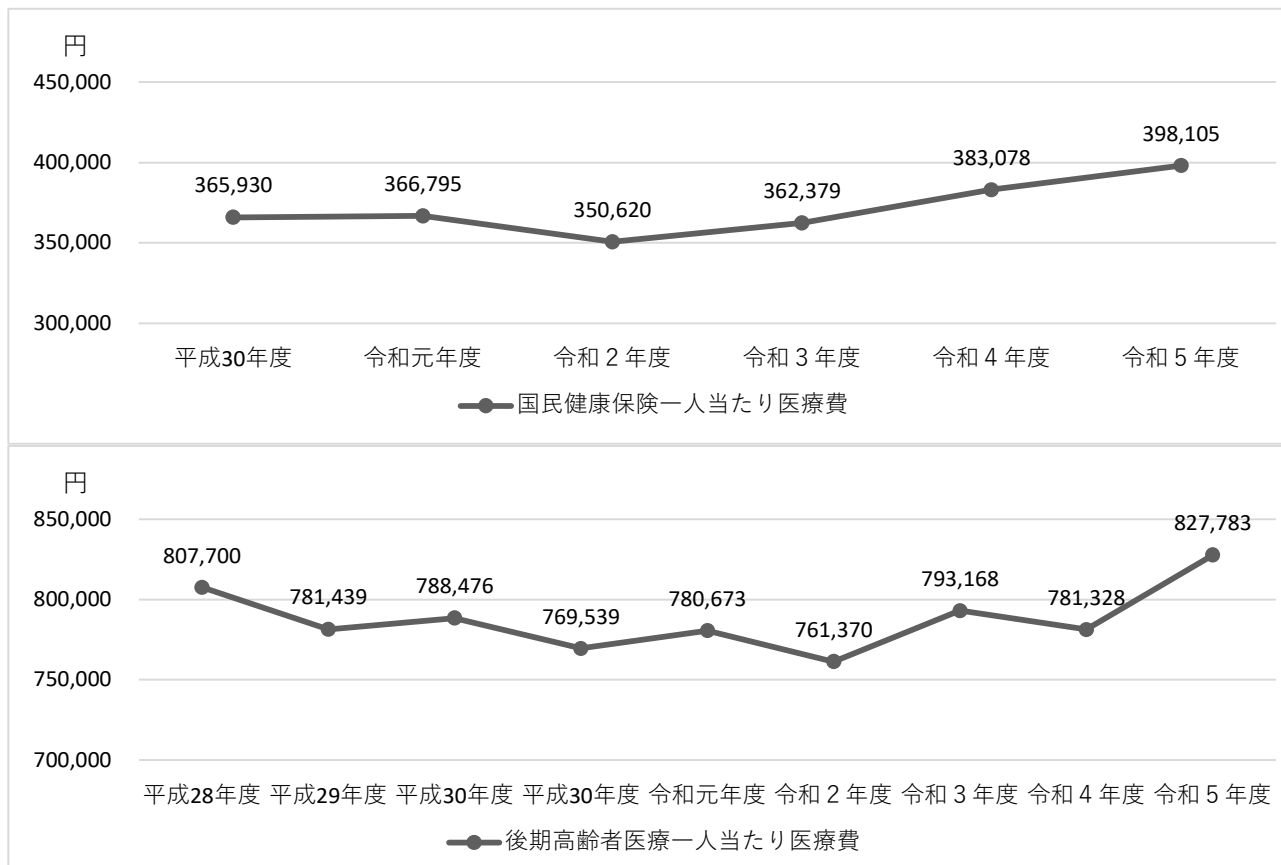
出所:埼玉県地域別健康情報

⁸ 65 歳健康寿命:健康寿命とは、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」のこと。埼玉県では、65 歳に達した県民が介護保険制度の「要介護 2 以上」になるまでの期間を「健康寿命」として算出している。

(2) 一人当たり医療費

国民健康保険一人当たり医療費は、令和3年度以降増加傾向にあり、後期高齢者医療一人当たり医療費は令和5年度において増加しています。

比較対象都市7市の中で国民健康保険一人当たり医療費は2番目に低く、後期高齢者医療一人当たり医療費は3番目に低くなっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
国民健康保険一人当たり医療費	令和3	円	362,379	366,190	374,305	362,476	399,565	351,535	385,504	数字が小さい =良い指標
後期高齢者医療一人当たり医療費	令和5	円	827,783	844,613	781,567	850,650	838,371	782,177	860,991	数字が小さい =良い指標

出所：国民健康保険事業状況

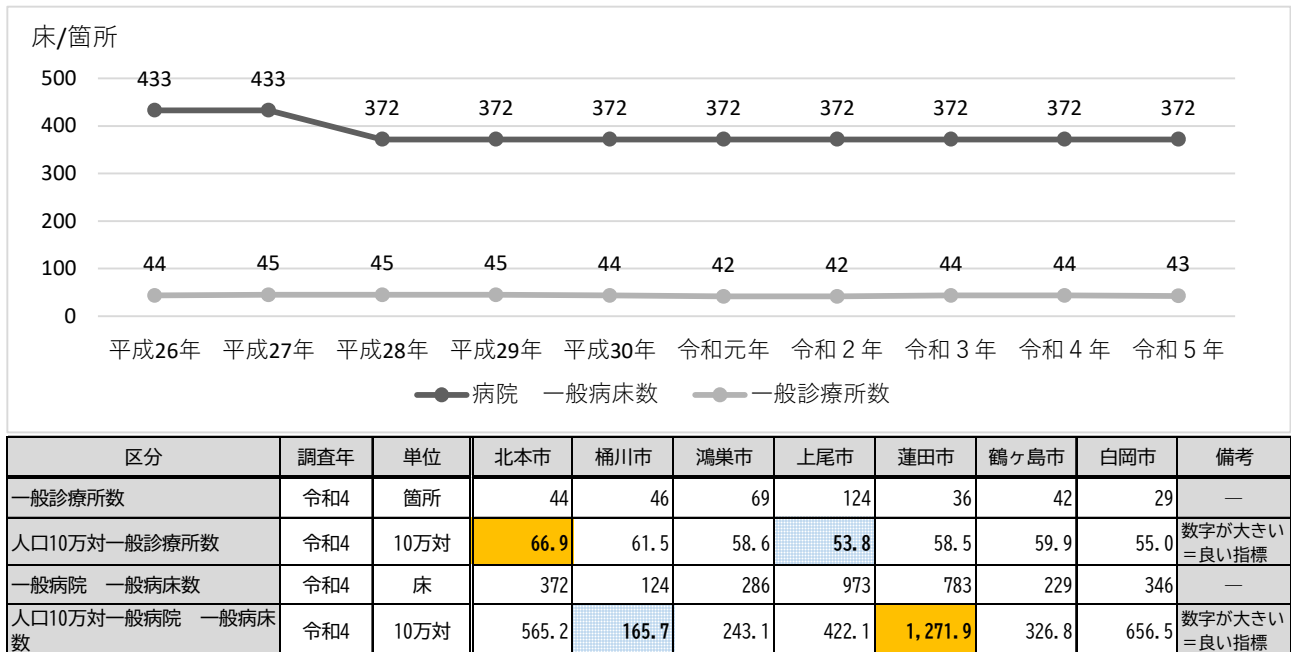
(3) 一般診療所数・一般病院一般病床数

一般診療所は令和元年に減少し、令和5年は43箇所となっています。

病院の一般病床数は372床で推移しています。

一般診療所数を人口10万対で見ると、比較対象都市7市の中で最も多くなっています。

一般病床数を人口10万対で見ると、比較対象都市7市の中で3番目に多くなっています。



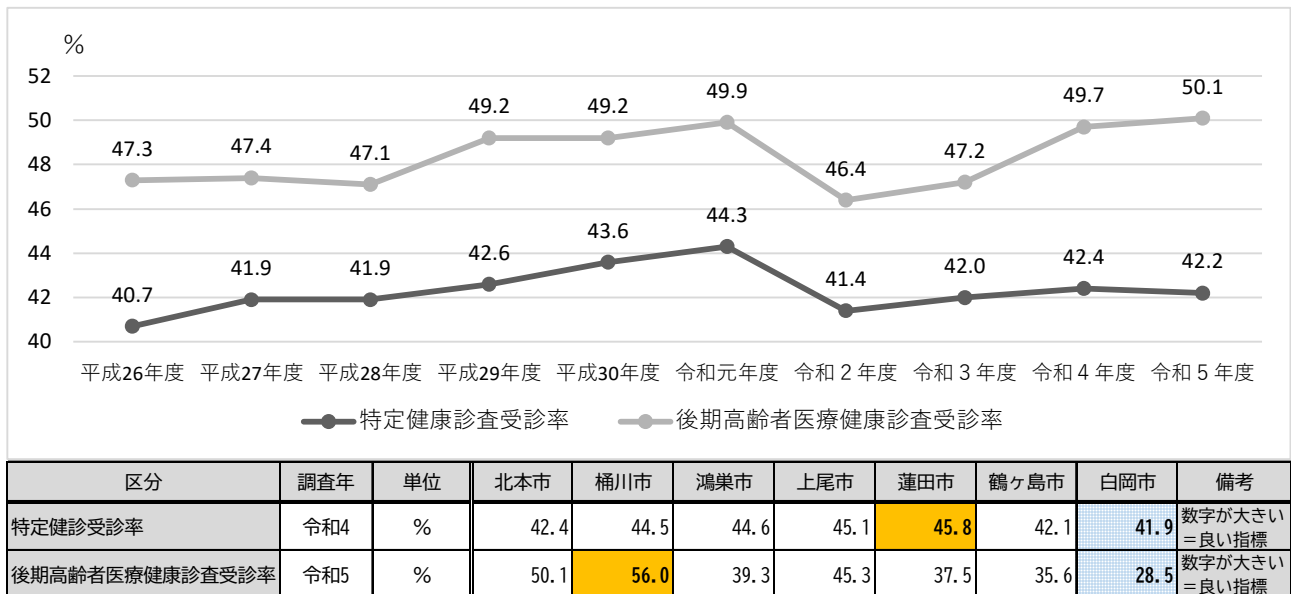
出所：医療施設統計

(4) 特定健診受診率・後期高齢者医療健康診査受診率

特定健診受診率は令和2年度に低下して以降、上昇傾向にあります。令和元年度の水準にまでは戻っていません。

後期高齢者医療健康診査受診率は令和2年度に低下して以降上昇し、令和5年度は50.1%となっています。

比較対象都市7市の中で特定健診受診率は3番目に低くなっています。後期高齢者医療健康診査受診率は2番目に高くなっています。



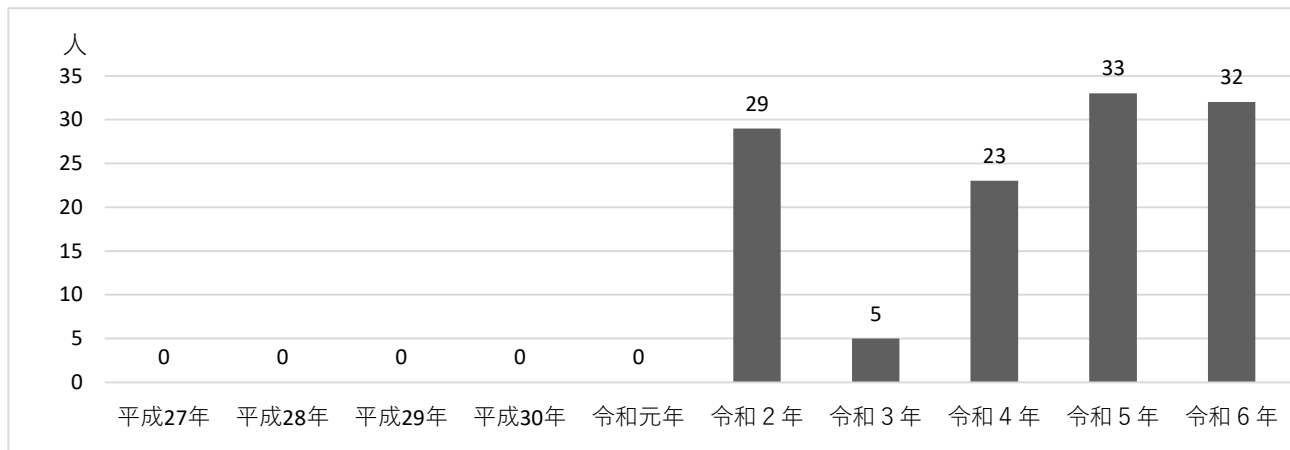
出所：埼玉県地域別健康情報

9. 福祉・社会保障

(1) 保育所入所待機児童数

待機児童数は増加傾向にあり、令和6年時点では32人となっています。

比較対象都市7市の中で白岡市と並んで30人台と、2番目に多くなっています。



出所:北本市保育課(各年4月1日現在)

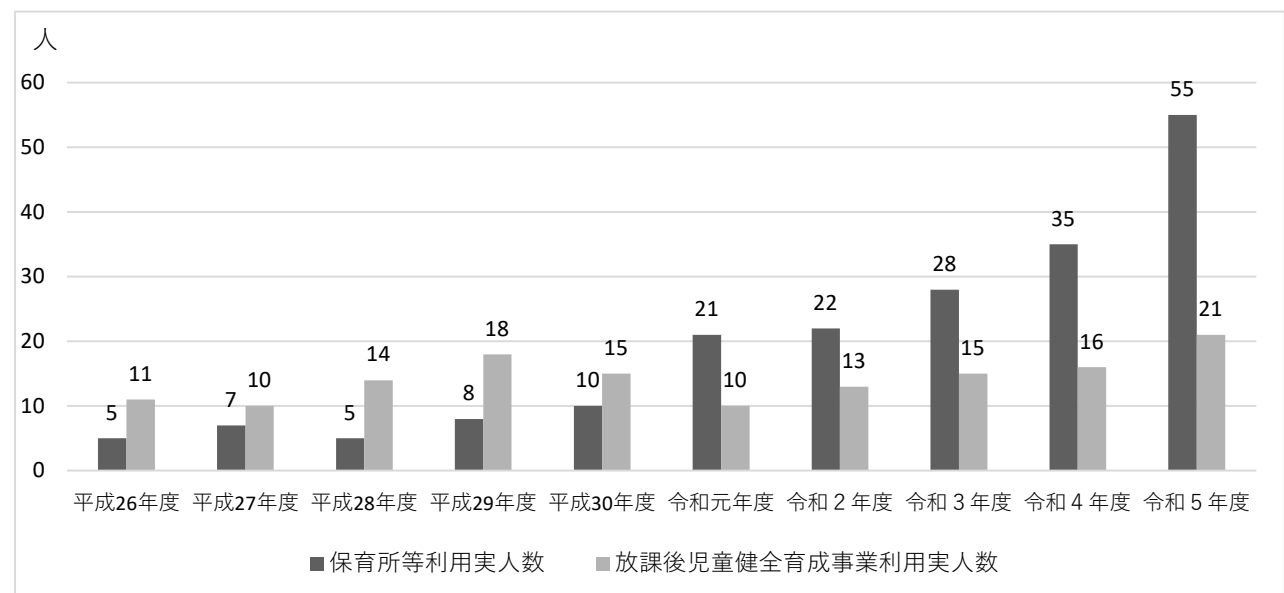
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
保育所入所待機児童数	令和6	人	32	0	0	6	9	0	36	数字が小さい =良い指標

出所:埼玉県「埼玉県内の保育所等待機児童数」(各年4月1日現在)

(2) 障がい児の保育所等利用実人数・放課後児童健全育成事業利用実人数

障がい児の保育所等利用実人数は増加傾向にあり、令和5年度時点で55人となっています。

放課後児童健全育成事業利用実人数は10人から20人で推移しています。

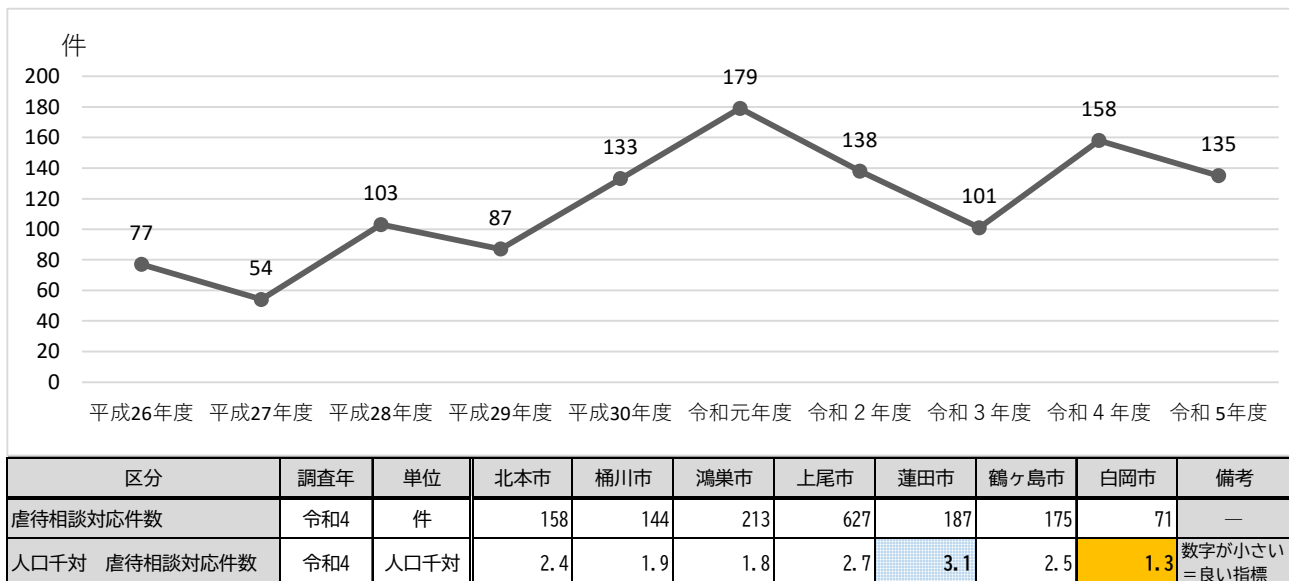


出所:北本市障がい福祉課

(3) 児童虐待相談対応件数⁹

児童虐待相談対応件数は近年150件前後で推移しています。

比較対象都市7市の中で人口当たり人口千対虐待相談対応件数が4番目となっています。



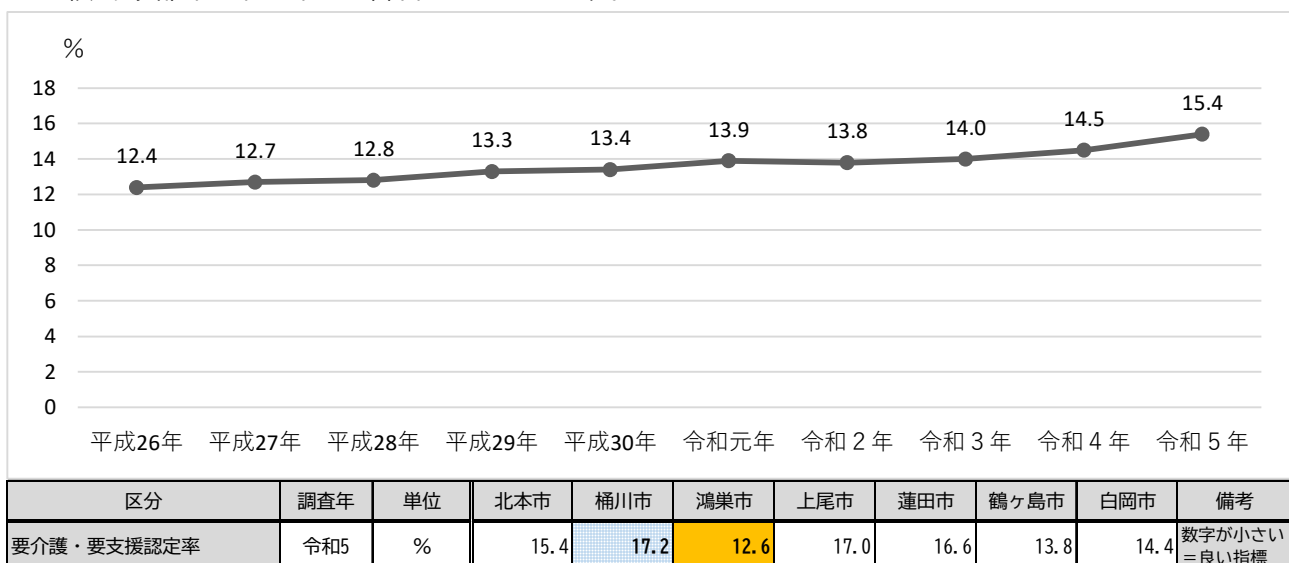
※平成 30 年度のみ受付件数。

出所：児童相談所業務概要「埼玉の児童相談」

(4) 要介護・要支援認定率¹⁰

要介護・要支援認定率は上昇傾向にあり、令和5年時点で15.4%となっています。

比較対象都市7市の中で4番目となっています。



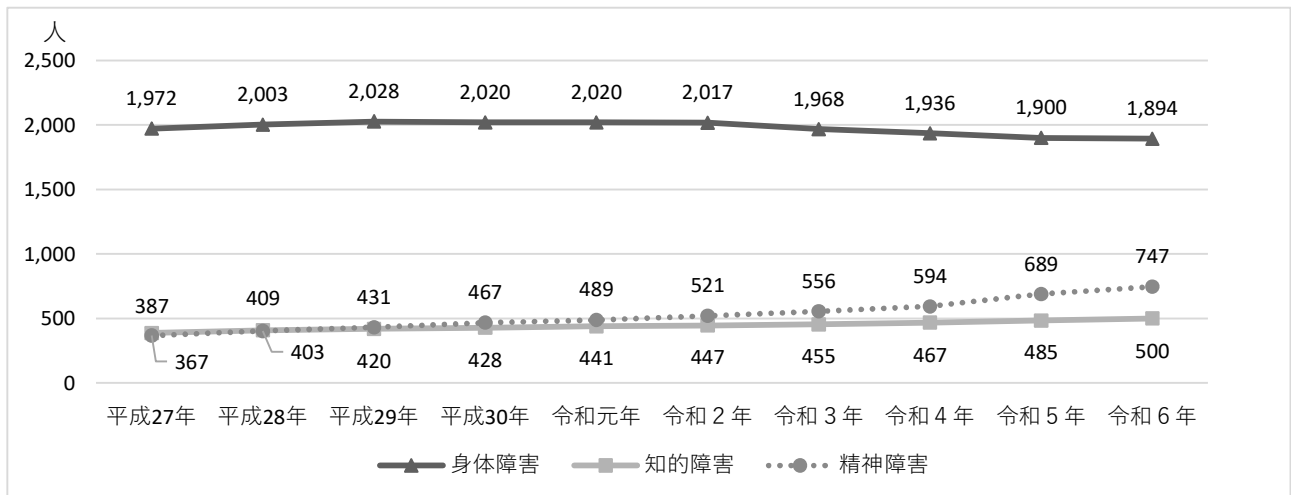
出所：介護保険事業状況報告

9 児童虐待相談対応件数：児童相談所が相談を受け、会議等の結果により指導や措置等を行った件数。

10 要介護(要支援)認定率：介護保険の第1号被保険者(65歳以上の人)のうち、要支援や要介護の認定を受けた人の割合。

(5) 障害者手帳所持者数の推移

障害者手帳の交付者数は、身体障害が減少傾向に、知的及び精神障害が増加傾向にあります。



出所：埼玉県総合リハビリテーションセンター、北本市障がい福祉課（各年3月31日現在）

区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
身体障害者手帳所持者数	令和6	人	1,894	2,103	3,244	5,988	1,743	1,796	1,348	—
身体障害者手帳所持者割合	令和6	%	2.9	2.8	2.8	2.6	2.8	2.6	2.6	—
療育手帳所持者数	令和6	人	500	617	944	1,981	479	495	387	—
療育手帳所持者割合	令和6	%	0.8	0.8	0.8	0.9	0.8	0.7	0.7	—

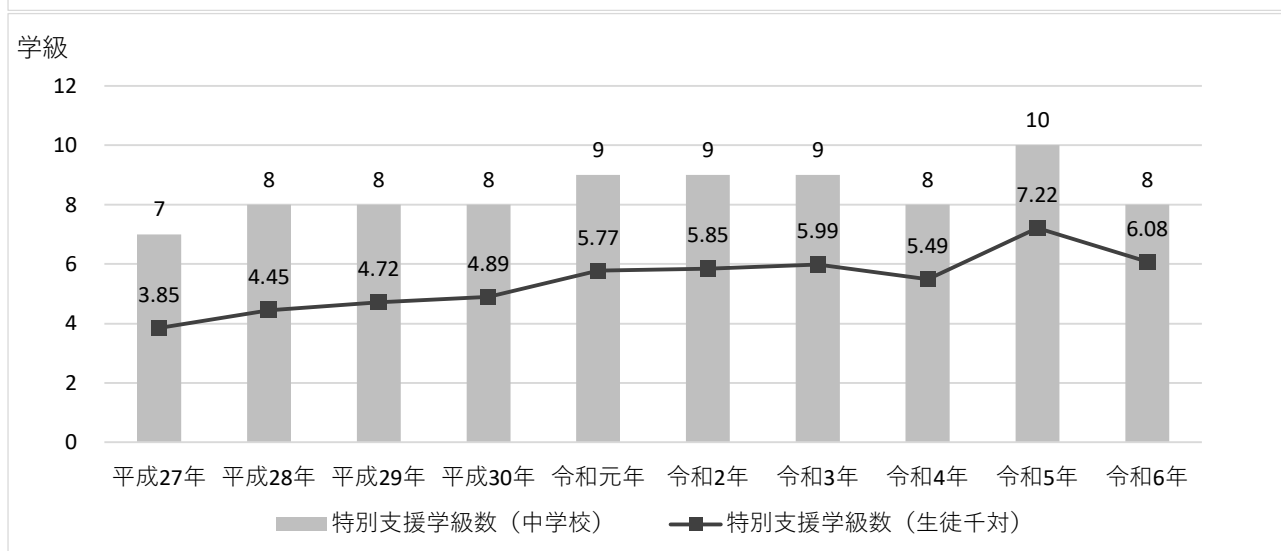
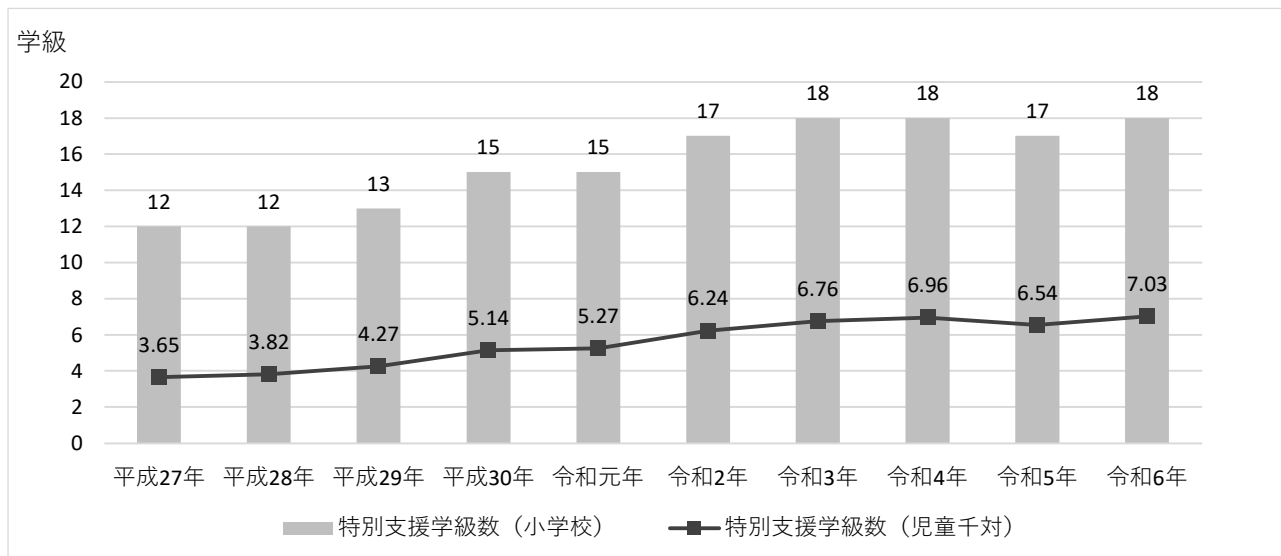
※精神障害者保健福祉手帳交付数は比較データなし

出所：埼玉県総合リハビリテーションセンター

(6) 特別支援学級数

特別支援学級数は小学校、中学校ともに過去10年間で増加し、児童・生徒千対の数値も概ね増加しています。

比較対象都市7市の中で小学校は2番目に、中学校は最も多くなっています。



区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
特別支援学級数 (小学校)	令和5	学級	17	15	27	53	16	22	16	—
児童数千対 特別支援学級数 (小学校)	令和5	千対	6.54	4.25	5.03	4.87	6.06	7.27	5.97	数字が大きい =良い指標
特別支援学級数 (中学校)	令和5	学級	10	8	16	23	10	10	8	—
生徒数千対 特別支援学級数 (中学校)	令和5	千対	7.22	4.68	5.81	4.21	7.05	6.13	6.38	数字が大きい =良い指標

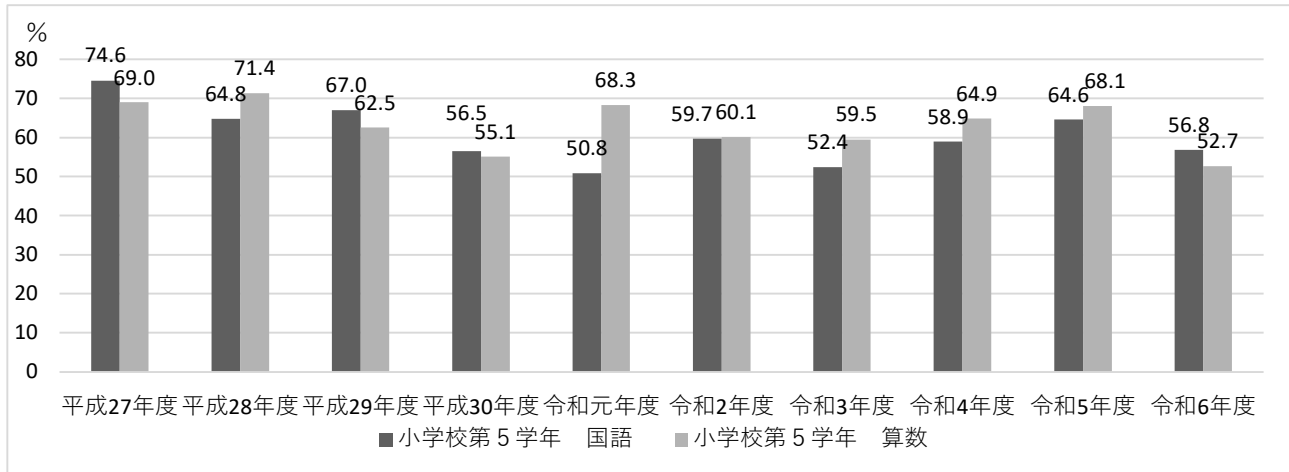
出所: 学校基本調査(各年5月1日現在)

10. 教育

(1) 埼玉県学力・学習状況調査 平均正答率(小学校第5学年)

小学5年生における平均正答率は、国語・算数ともに、上下しながら推移しています。

埼玉県と比較すると、国語、算数ともに高くなっています。



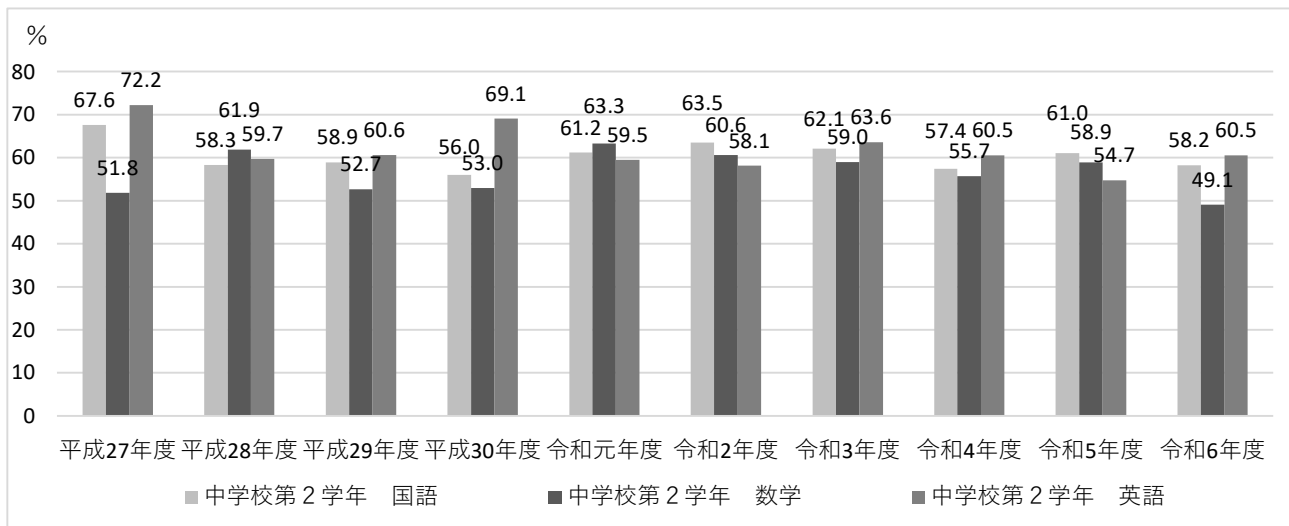
区分	調査年	単位	北本市	埼玉県
埼玉県学力・学習状況調査 平均正答率(小5国語)	令和5	%	64.6	62.7
埼玉県学力・学習状況調査 平均正答率(小5算数)	令和5	%	68.1	63.0

出所:埼玉県学力・学習状況調査

(2) 埼玉県学力・学習状況調査 平均正答率(中学校第2学年)

中学2年生における平均正答率は、いずれも上下しながら推移しています。

埼玉県と比較すると、数学はやや低く、国語、英語は高くなっています。



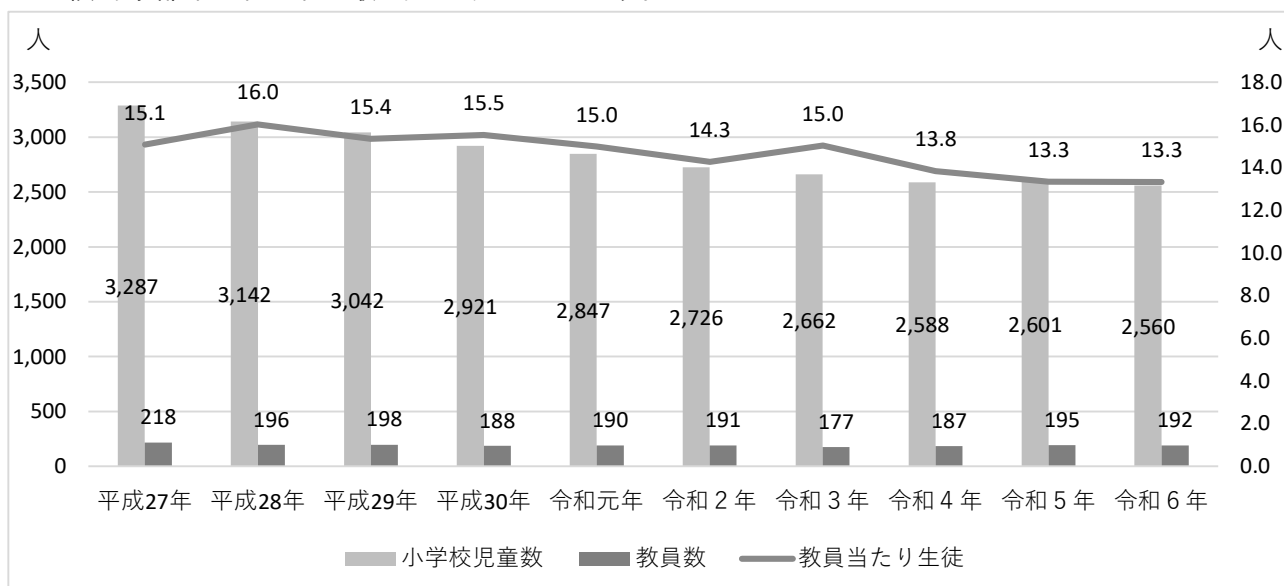
区分	調査年	単位	北本市	埼玉県
埼玉県学力・学習状況調査 平均正答率(中2国語)	令和5	%	61.0	60.2
埼玉県学力・学習状況調査 平均正答率(中2数学)	令和5	%	58.9	59.0
埼玉県学力・学習状況調査 平均正答率(中2英語)	令和5	%	54.7	53.3

出所:埼玉県学力・学習状況調査

(3) 小学校の教員1人当たり児童数

小学校における児童数は減少傾向にあり、教員数も、増減を繰り返しているものの概ね減少傾向で推移しています。教員1人当たり児童数は減少傾向にあります。

比較対象都市7市の中で最も少なくなっています。



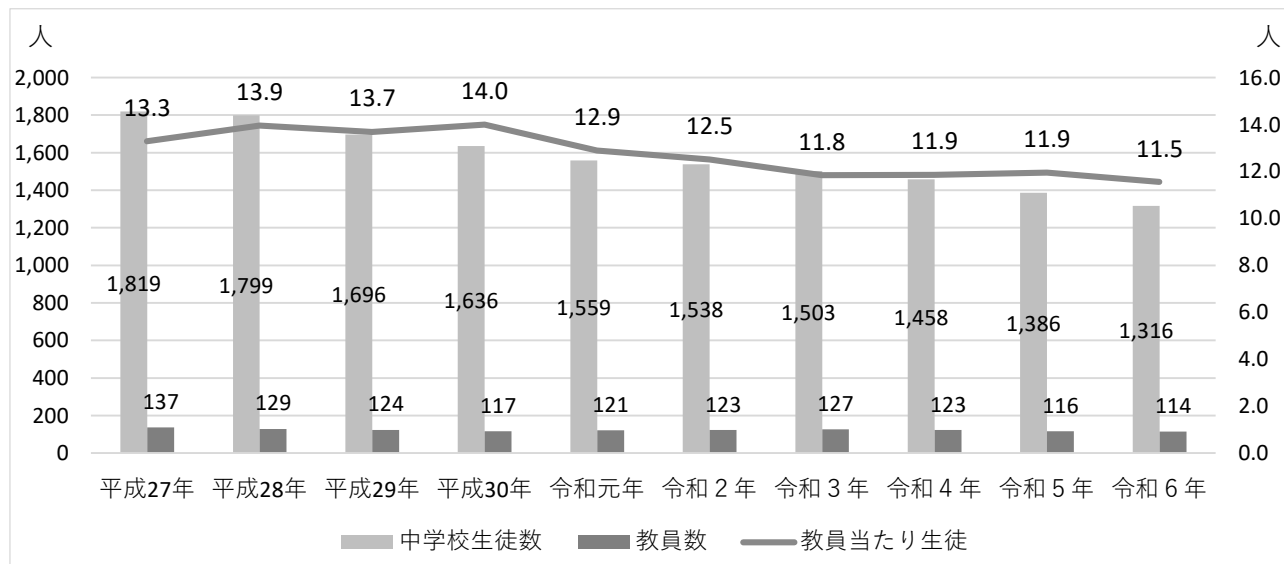
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
小学校の教員1人当たり児童数	令和5	人	13.3	17.2	13.4	17.0	14.0	13.6	14.6	数字が小さい＝良い指標

出所:学校基本調査(各年5月1日現在)

(4) 中学校の教員1人当たり生徒数

中学校における生徒数は減少が続いており、教員数は概ね横ばいで推移しています。教員1人当たり生徒数は減少傾向にあります。

比較対象都市7市の中で3番目に少なくなっています。



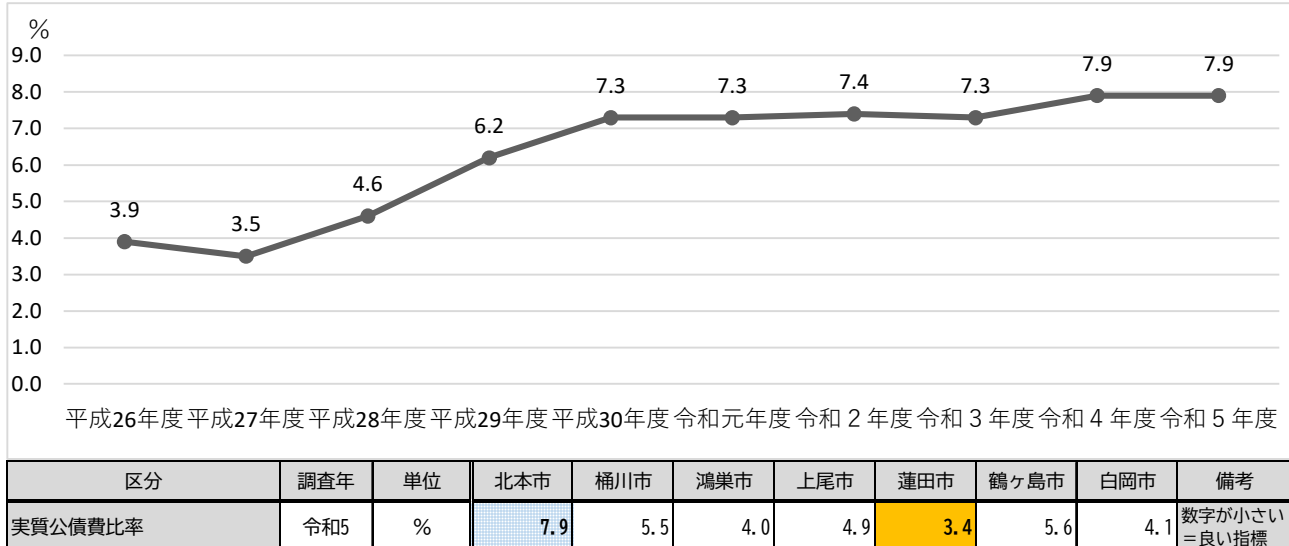
区分	調査年	単位	北本市	桶川市	鴻巣市	上尾市	蓮田市	鶴ヶ島市	白岡市	備考
中学校の教員1人当たり生徒数	令和5	人	11.9	13.8	13.4	14.9	11.6	11.6	12.4	数字が小さい＝良い指標

出所:学校基本調査(各年5月1日現在)

11. 行政基盤

(1) 実質公債費比率¹¹

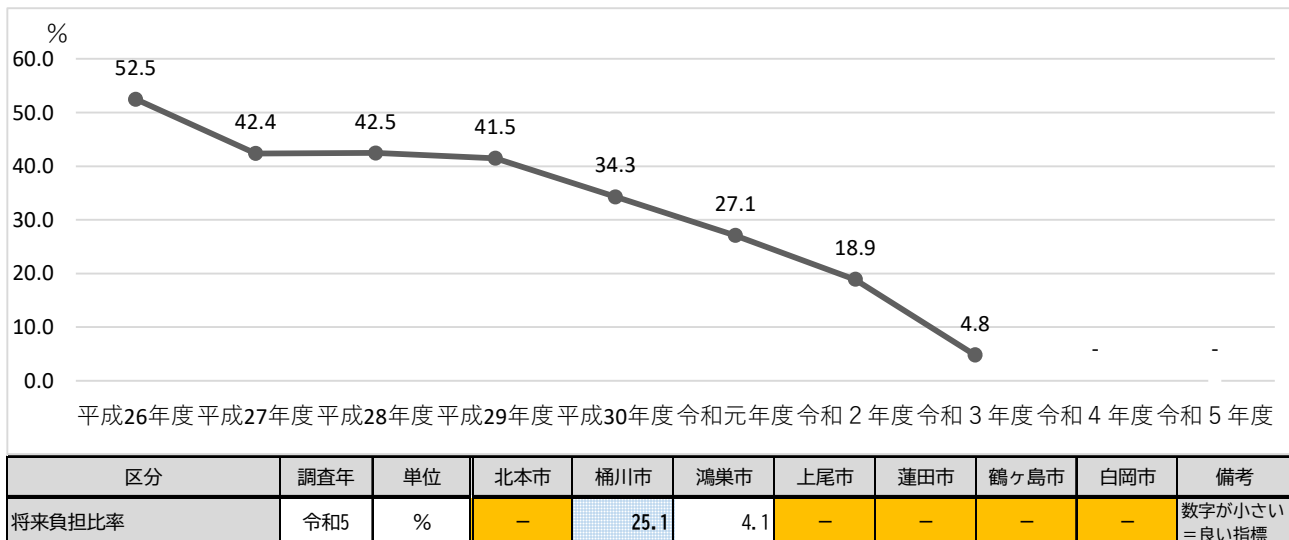
実質公債費比率は平成27年度以降上昇傾向にあり、令和5年度時点で7.9%となっています。
比較対象都市7市の中で最も高くなっています。



出所:地方財政状況調査

(2) 将来負担比率¹²

将来負担比率は平成26年度以降低下が続き、令和4年度以降は算定なしとなっています。
比較対象都市7市の中で北本市に加え上尾市、蓮田市、鶴ヶ島市、白岡市が算定なしとなっています。



※「—」は算定なし

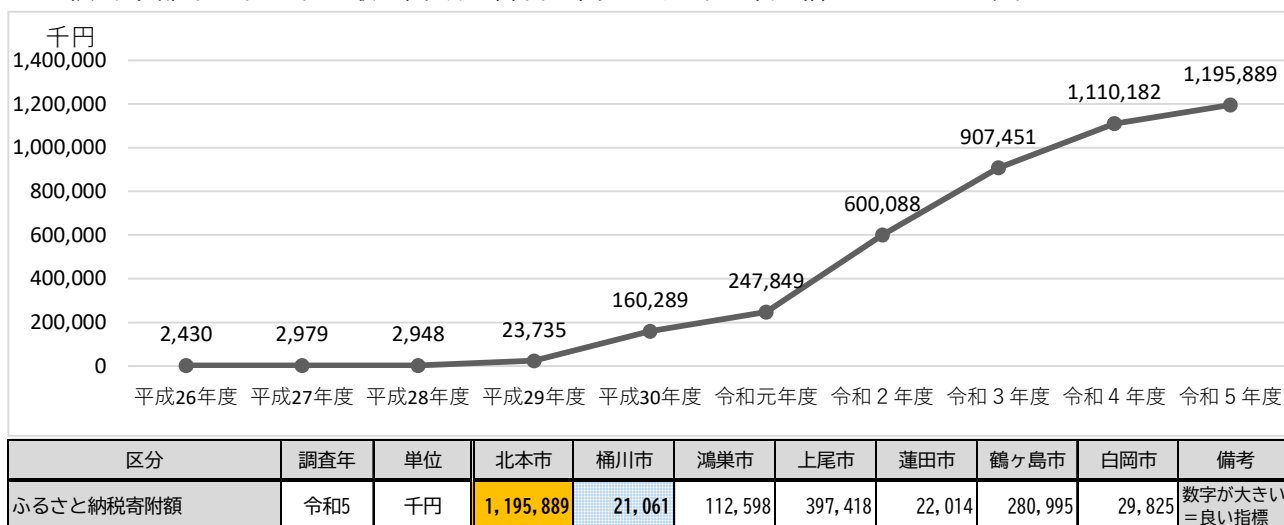
出所:地方財政状況調査

- 11 実質公債費比率:借入金(地方債)の返済額(公債費)の大きさを、標準財政規模に対する割合の3か年の平均値で表したもの。
- 12 将来負担比率:借入金(地方債)など現在抱えている負債の大きさを、標準財政規模に対する割合で表したもの。将来負担額より充当可能財源等が大きい場合、算定されない。

(3) ふるさと納税寄附額

ふるさと納税寄附額は令和元年度以降大きく増加し、令和5年度時点で1,195,889千円となっています。

比較対象都市7市の中で最も高く、2番目に高い上尾市の約3倍となっています。

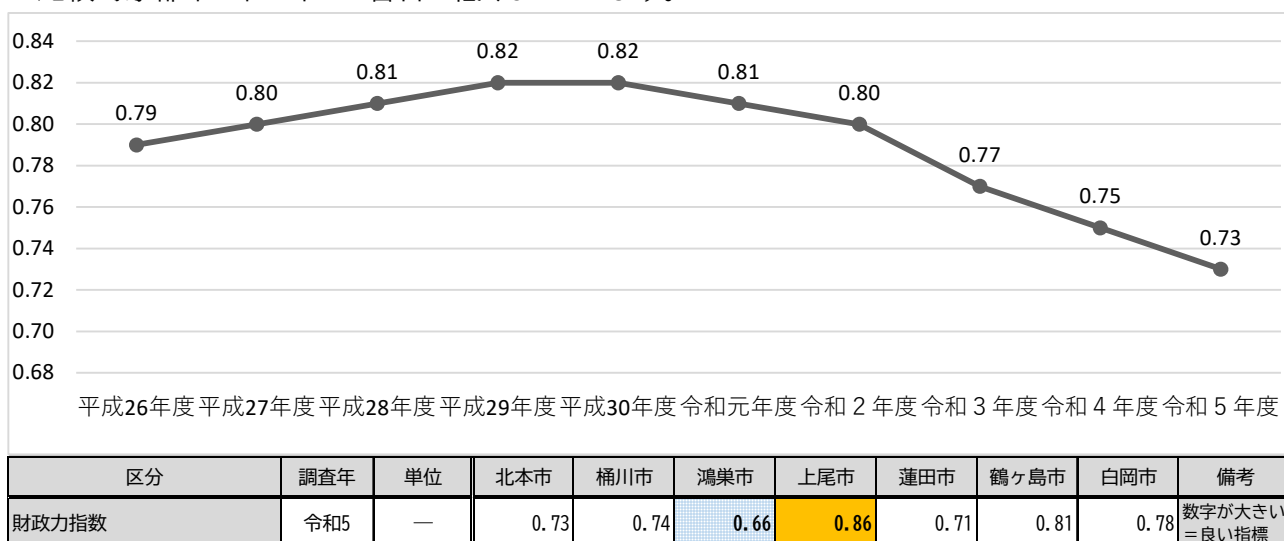


出所：ふるさと納税に関する現況調査

(4) 財政力指数¹³

財政力指数は平成30年度以降低下が続き、令和5年度時点で0.73となっています。

比較対象都市7市の中で3番目に低くなっています。



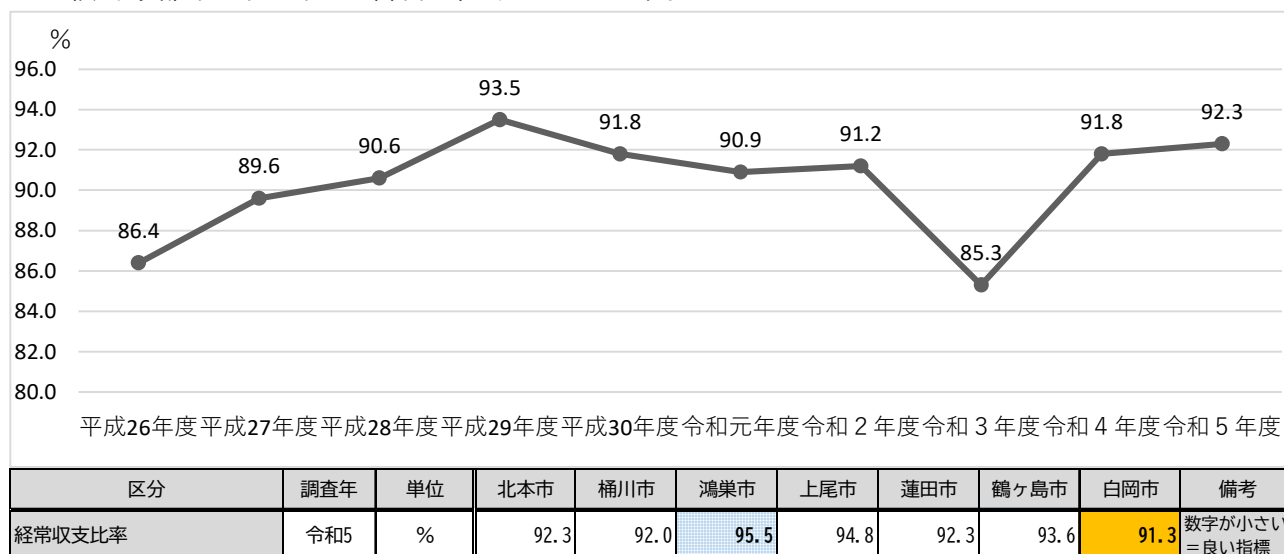
出所：地方財政状況調査

13 財政力指数：地方公共団体の財政力を示す指数。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

(5) 経常収支比率¹⁴

経常収支比率は平成29年度まで上昇して以降、令和3年度には一度低下したものの、概ね横ばいで推移しています。平成28年度以降は令和3年度を除き90%台となっています。

比較対象都市7市の中で3番目に低くなっています。

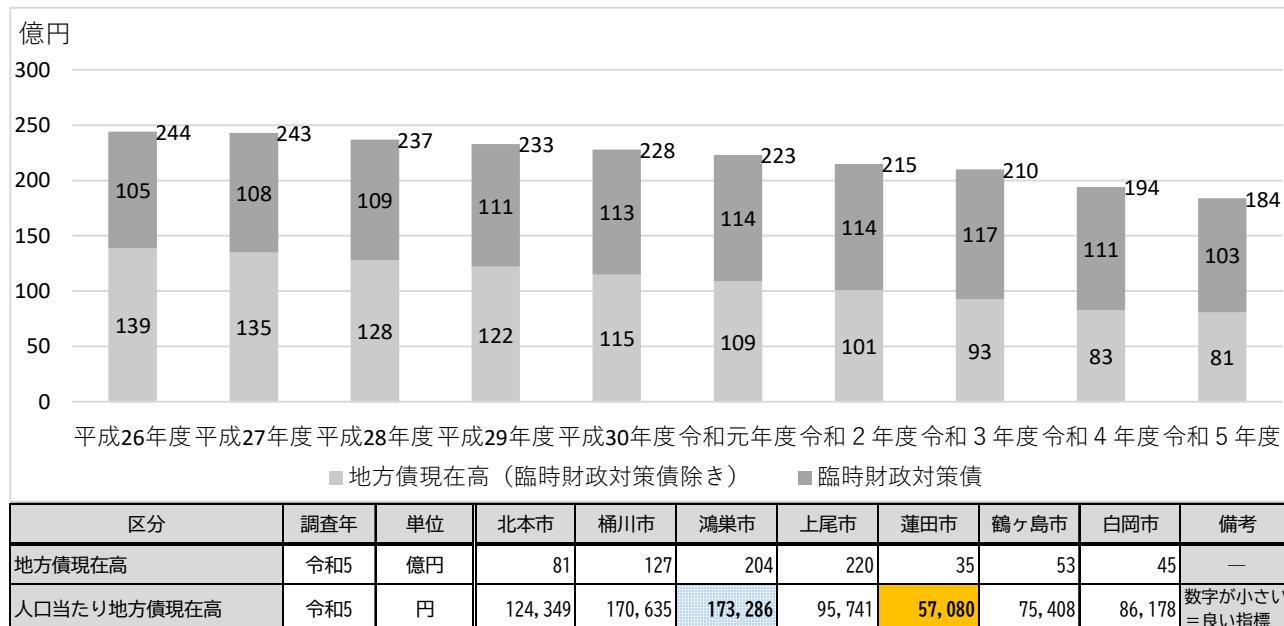


出所:地方財政状況調査

(6) 地方債現在高

地方債現在高は減少傾向にあります。

比較対象都市7市の中で人口当たり地方債現在高が5番目に低くなっています。

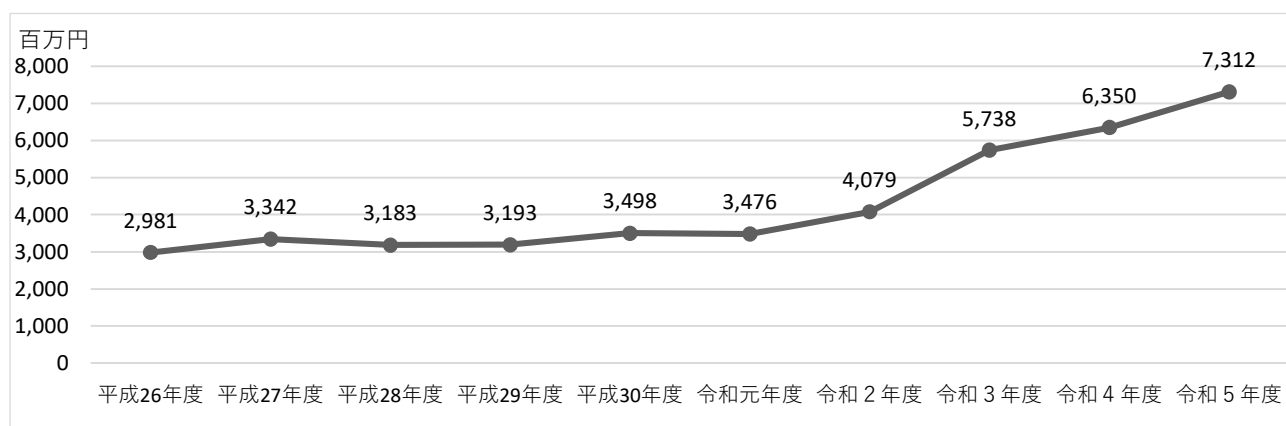


出所:地方財政状況調査

14 経常収支比率:地方交付税などの経常的収入に対して、人件費や公債費といった毎年必ず出ていく経費の割合。財政構造の弾力性を測定する比率として使われている。この値が大きくなればなるほど自由に使える財源が少なくなる。

(7) 基金残高の状況

基金残高は増加傾向にあります。



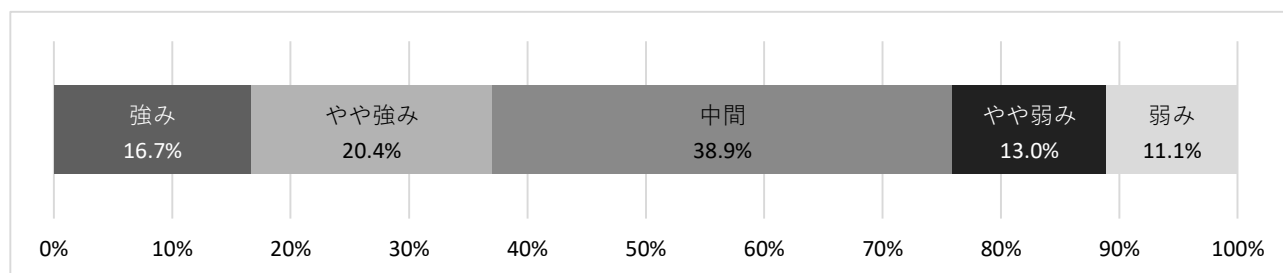
出所:令和6年度北本市財政計画

Ⅲ 調査結果のまとめ

11分野に係る54指標で都市間比較を行った結果、北本市は強み(7自治体中1・2番目に良い数値だった指標)が37.0%、弱み(7自治体中1・2番目に悪い数値だった指標)が24.1%となりました。

分野別にみると、特に「5. 市民活動」、「8. 健康・医療」、「6. 生活基盤」、「7. 安全」、「10. 教育」で強みとやや強みの合計が50.0%を超えています。また、弱みとやや弱みの合計が「1. 人口・世帯」で71.4%、「2. 結婚・出産」で66.7%と、比較的高くなっています。

■11分野54指標による都市間比較にみる北本市の強み・弱み傾向



■11分野別の都市間比較にみる北本市の強み・弱み傾向

	強み	やや強み	中間	やや弱み	弱み	総数	強み+やや強み割合	弱み+やや弱み割合
7自治体中	1 番目	2 番目	3～5 番目	6 番目	7 番目			
1. 人口・世帯	0	0	2	2	3	7	0.0%	71.4%
2. 結婚・出産	0	0	1	2	0	3	0.0%	66.7%
3. 都市形成	0	1	3	1	0	5	20.0%	20.0%
4. 産業・経済	1	2	1	1	2	7	42.9%	42.9%
5. 市民活動	0	2	1	0	0	3	66.7%	0.0%
6. 生活基盤	1	1	2	0	0	4	50.0%	0.0%
7. 安全	0	2	2	0	0	4	50.0%	0.0%
8. 健康・医療	3	2	3	0	0	8	62.5%	0.0%
9. 福祉・社会保障	1	1	2	1	0	5	40.0%	20.0%
10. 教育	1	0	1	0	0	2	50.0%	0.0%
11. 行政基盤	2	0	3	0	1	6	33.3%	16.7%
総数	9	11	21	7	6	54	37.0%	24.1%

■11分野別の都市間比較にみる北本市の強み・弱み指標一覧

	強み	やや強み	やや弱み	弱み
7自治体中	1 番目	2 番目	6 番目	7 番目
1. 人口・世帯			●世帯人員 ●自然動態	●単身世帯に占める高齢者単身世帯の割合 ●年少人口割合 ●高齢者人口割合
2. 結婚・出産			●合計特殊出生率 ●5 歳階級別女性の未婚率（25～49歳）	
3. 都市形成		●耕作放棄地面積（率）	●住宅の耐震化率	
4. 産業・経済	●観光入込客数（観光地点）	●人口当たり商品販売額 ●観光入込客数（合計）	●完全失業率	●人口当たり総生産 ●人口当たり製造品出荷額等
5. 市民活動		●ボランティア団体数対総人口 ●自治会に加入している世帯の割合		
6. 生活基盤	●都市公園面積割合	●ごみの再生利用率		
7. 安全		●人口千対犯罪発生件数 ●人口千対交通事故発生件数		
8. 健康・医療	●65歳健康寿命 男性 ●65歳健康寿命 女性 ●人口10万対一般診療所数	●国民健康保険一人当たり医療費 ●後期高齢者医療一人当たり医療費		
9. 福祉・社会保障	●生徒数千対 特別支援学級数（中学校）	●児童数千対 特別支援学級数（小学校）	●保育所入所待機児童数	
10. 教育	●小学校の教員1人当たり児童数			
11. 行政基盤	●将来負担比率 ●ふるさと納税寄附額			●実質公債費比率

発行年月：令和7年3月